



令和4年版 消防年報



豊後高田市消防本部
〈令和5年刊行〉

はじめに

この消防年報は、令和4年（度）中における、豊後高田市の消防概況及び業務に関する諸般の事項を収録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編集したものです。

消防関係機関はもとより、広くあらゆる方面でご活用いただき、本市消防行政をご理解いただく一助となれば幸いです。

令和5年10月
豊後高田市消防本部



目 次

■ 1 概 要	
1-1 位置・地勢	5
1-2 管内面積・人口・世帯数	6
1-3 管内配置図	6
1-4 消防本部及び消防署等の所在地	6
1-5 沿革	7
1-6 歴代消防長、消防署長	13
■ 2 総 務	
2-1 消防本部・消防署機構図	16
2-2 事務分掌	17
2-3 豊後高田市災害対策本部組織図	19
2-4 豊後高田市災害対策本部事務分掌	19
2-5 消防庁舎の現況	20
2-6 消防予算	24
2-7 職員配置表	25
2-8 職員の定数及び階級別実員	26
2-9 職員勤続年数表	26
2-10 職員年齢構成表	27
2-11 各種資格取得状況	28
2-12 消防職員表彰受賞状況	30
2-13 職員の消防学校・消防大学校等入校状況	31
■ 3 予 防	
3-1 防火対象物の現況	33
3-2 消防用設備等設置件数	34
3-3 予防関係届出処理状況	35
3-4 防火管理の状況	36
3-5 建築確認用途別申請内訳	37
3-6 防火対象物の立入検査実施状況	38
3-7 危険物施設数と倍数	39
3-8 危険物施設数の推移	40
3-9 危険物規制許認可事務処理状況、危険物製造所等の手数料収入状況	41
3-10 危険物関係申請・届出受理状況	42
3-11 危険物施設の立入検査実施状況	43
■ 4 警 防	
4-1 消防車両の配置状況	45
4-2 通信設備一覧	46
4-3 消防無線局一覧	47
4-4 消防・救急資機材の現況	49
4-5 消防水利の現況	50
4-6 警防関係各種届出事務処理状況	51
4-7 相互応援協定・支援協定締結状況	51

■ 5 火災統計	
5-1 火災の概要、損害額の推移	53
5-2 火災による死者の状況、火災による負傷者の状況	54
5-3 出火原因別火災発生状況	55
5-4 用途別・月別火災発生状況	56
5-5 種別・時間別火災発生状況	57
5-6 曜日別火災発生状況	58
■ 6 救急・救助統計	
6-1 救急出動の推移、事故種別発生状況	60
6-2 曜日別、月別出動件数調べ	61
6-3 搬送人員	62
6-4 時間別出動件数	62
6-5 傷病程度別搬送状況	63
6-6 医療機関搬送先件数	63
6-7 救急隊員の行った応急処置件数	64
6-8 救急隊員の資格	64
6-9 応急手当普及啓発活動実施状況	65
6-10 救助出動状況	65
6-11 事故種別救助活動状況	65
6-12 地区別出動件数及び救助人員	66
6-13 月別出場件数及び救助人員	67
6-14 救助隊が使用する主な保有資機材	68
6-15 救助隊の教育訓練	69
6-16 大分県救助大会の出場状況	69
■ 7 消防団	
7-1 歴代消防団長	71
7-2 機構図・組織	71
7-3 名称・位置・管轄区域	72
7-4 消防車両配備状況	73
7-5 団員の条例定数及び実員数	74
7-6 消防団別勤務年数表	75
7-7 消防団員年齢表	75
7-8 消防団員表彰受賞状況	76
7-9 消防団員の消防学校等入校状況	77
7-10 階級別消防団報酬・手当	77
7-11 消防団相互応援協定締結状況	78
■ 8 資料編	
歴代全国統一防火標語	80
気象観測情報	81
緊急消防援助隊編成表	82
AEDの設置状況① 公的施設	83
AEDの設置状況② 民間事業所等	84
市指定避難所・避難場所	85
津波避難ビル	86
福祉避難所	86

概 要



1 概要

1-1 位置・地勢



東 経	131度26分50秒
北 緯	33度33分22秒
北 西	17.1 km
南 北	23.2 km
海 岸 線	16.2 km
面 積	206.2 km ²

当消防本部は、大分県の北東部、国東半島の西側に位置し、東経131°26′、北緯33°33′、東西の距離17.1km、南北の距離23.2km、総面積は206.24km²で、北は周防灘に面し、豊かな自然と温暖で過ごしやすい瀬戸内式気候に属し、年間の平均気温は15.6℃、平均降雨量は、1,423mmと温暖少雨で農作物の栽培にも適した環境に恵まれています。

当管内の東部から南部にかけては、ハジカミ山、尻付山、屋山、両子山や日本三叡山に数えられる西叡山等の山々が連なり、国東半島のほぼ中央の両子山から、放射状に延びた谷や峰々の谷間を桂川、真玉川、竹田川等が走り、河口付近に市街地が形成されています。

市土に占める林野面積の割合は56.7%と高く、市の東側や南側には、瀬戸内海国立公園や国東半島県立自然公園を擁し、市街地は市の南側を流れる桂川の河口付近に形成され、東に国東市、杵築市、南に宇佐市と接し、西は当管内の海岸部で国道213号線が走る風光明媚なりアス式海岸と遠浅の海で、海水浴場、キャンプ場、温泉が点在し、魚介類の宝庫として恩恵に浴しています。

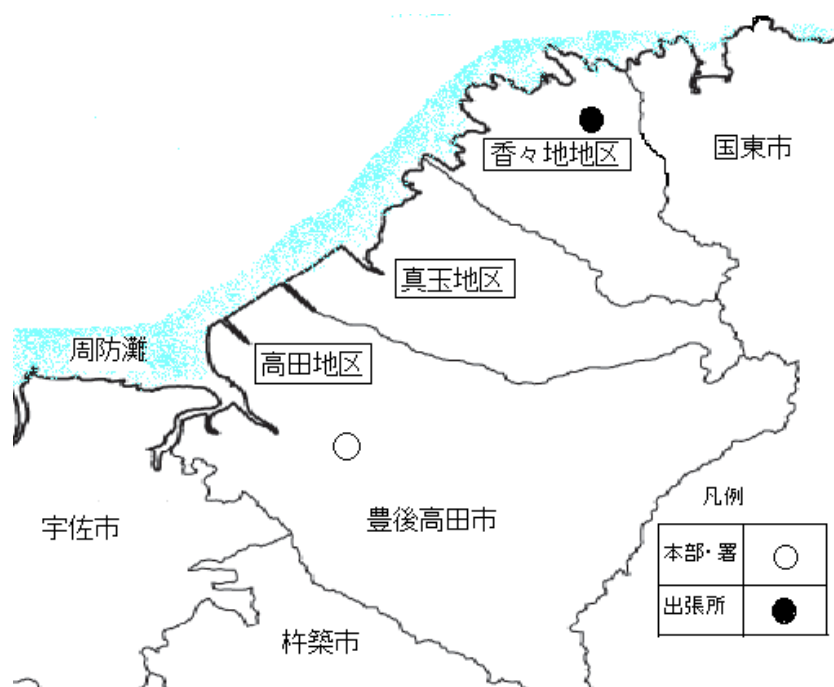
また、当管内は、古くは、奈良時代から宇佐神宮の影響を強く受け、平安時代には宇佐神宮の荘園となり、独自の山岳仏教文化「六郷満山文化」が栄え、国宝（富貴寺）をはじめ数々の歴史的遺跡が存在する地域です。鎌倉時代から戦国時代までの間は海路交通による関西方面との交流が盛んであったため、国東半島地域の武士団の瀬戸内海への本拠地となっていました。また明治以降においては関門地域への内海航路の拠点として西瀬戸地域の交流の結節点の役割を果たしてきました。平成17年3月31日には、旧豊後高田市、真玉町、香々地町の1市2町が合併し、新市、豊後高田市が誕生しました。

1-2 管内面積・人口・世帯数

令和5年3月31日現在

署所名	地区名	人口(人)	世帯数	管内面積
本署	高田地区	16,642	8,110	124.57
	真玉地区	2,967	1,554	44.35
香々地出張所	香々地地区	2,513	1,296	37.69
合計		22,122	10,960	206.61

1-3 管内配置図



1-4 消防本部及び消防署等の所在地

名称	所在地	電話番号 FAX番号
豊後高田市消防本部	〒879-0605	(0978) 22-3108
豊後高田市消防署	大分県豊後高田市御玉 147 番地	(0978) 22-3542
豊後高田市消防署	〒872-1207	(0978) 23-2822
香々地出張所	大分県豊後高田市見目 116 番地 1	(0978) 23-2823

1-5 沿革

年 表	出 来 事
昭和 45. 11. 1 (1970 年)	高田地区救急業務事務組合設立 豊後高田市・真玉町・香々地町・大田村の 1 市 2 町 1 村で救急業務を開設 救急車（ニッサン B 型級）を豊後高田ロータリークラブから寄贈 職員採用 6 人、市消防本部から 2 人出向、署長・庶務（定数 11 人）救急組合 8 人にて救急活動始動
昭和 46. 3. 23 (1971 年)	移動局 1 基増設（救急車）（移動局 計 3 基）
昭和 47. 10. 21 (1972 年)	消防一部事務組合設立要望書提出
昭和 47. 11. 15 (1972 年)	消防一部事務組合設立委員会発足
昭和 48. 3. 3 (1973 年)	関係市町村議会議決（豊後高田市・真玉町・香々地町）
昭和 48. 3. 15 (1973 年)	高田地域消防組合設立許可 第 1 回消防組合議会開催
昭和 48. 4. 1 (1973 年)	高田地域消防組合開設消防・救急業務を豊後高田市・真玉町・香々地町・大田村の 1 市 2 町 1 村で共同処理するため発足実働を開始 消防ポンプ自動車（ニッサン BD-1 型 A-2 級）真玉町から寄贈
昭和 48. 4. 21 (1973 年)	定数改正～職員採用 10 人（市から 5 人、新採用 5 人）（計 39 人）
昭和 48. 6. 30 (1973 年)	広報車（三菱シバン 1600cc）を日本消防協会から寄贈
昭和 51. 3. 10 (1976 年)	消防ポンプ自動車（トヨタ BD-1 型 A-1 級）日本損害保険協会から寄贈
昭和 51. 3. 31 (1976 年)	大分県常備消防相互応援協定締結
昭和 51. 11. 27 (1976 年)	救急車（ニッサン 2B 型）を日本自動車工業会から寄贈
昭和 54. 4. 1 (1979 年)	職員採用 1 人（欠員補充 職員数計 39 人）
昭和 55. 8. 28 (1980 年)	職員採用 1 人（欠員補充 職員数計 39 人）
昭和 56. 12. 17 (1981 年)	水槽付消防ポンプ自動車（いすゞ 1-A 型 A-2 級）購入
昭和 57. 4. 1 (1982 年)	職員採用 3 人（定数条例改正）（定数 42 人、実員 41 人）
昭和 58. 3. 25 (1983 年)	救急車（トヨタ 2B 型）を日本自動車工業会から寄贈
昭和 58. 4. 1 (1983 年)	職員採用 1 人（職員数計 42 人）
昭和 61. 3. 25 (1986 年)	指令車（トヨタバン 2000cc）（株）佐々木食品から寄贈
昭和 61. 11. 26 (1986 年)	消防ポンプ自動車（いすゞ CD-1 型 A-2 級）更新
昭和 61. 11. 27 (1986 年)	広報車（トヨタバン 1500cc）更新
昭和 62. 4. 1 (1987 年)	豊後高田市財務規則の改正により、票簿会計の実施
昭和 62. 8. 20 (1987 年)	査察車（トヨタバン 1500cc）、充填機、軽可搬 日本消防協会事業船舶振興会から寄贈
昭和 62. 10 (1987 年)	大分県総合防災訓練実施（美和工業団地）
昭和 63. 4. 1 (1988 年)	職員採用 2 人（欠員補充）

昭和 63. 12. 27 (1988 年)	救急車 (トヨタ 2B 型) 日本損害保険協会から寄贈 (更新)
平成元. 4. 1 (1989 年)	職員採用 1 人 (欠員補充)
平成元. 9. 8 (1989 年)	消防ポンプ自動車 (いすゞ CD-1 CD-1 型 A-2 級) 4WD 更新
平成元. 9. 15 (1989 年)	署内改装工事 (待機室、通信室等) H元. 10. 31 完成
平成 2. 3. 14 (1990 年)	救助隊編成 (隊員 13 人)
平成 2. 11. 26 (1990 年)	高圧ガス製造許可申請 (12/12) コンプレッサー
平成 3. 1. 9 (1991 年)	救助工作車 (日野 II 型ウインチ付)、救助資機材一式
平成 3. 1. 21 (1991 年)	無線局空中線新設工事 H3. 3. 20 完成
平成 3. 3. 25 (1991 年)	新庁舎 (御玉 147 番地、仮庁舎) へ移転 (市庁舎から)
平成 3. 4. 23 (1991 年)	無線局住所変更許可 (御玉 147 番地)
平成 3. 4. 30 (1991 年)	事務所の位置変更許可 (大字御玉 147 番地) 県知事
平成 3. 6. 3 (1991 年)	ミニ消防車製 S53 年式スズキジムニー (4WD) を改造 (ストップ君と命名) 3 軽検大分改造第 9 号 車検 6/6
平成 3. 8. 25 (1991 年)	訓練塔建設完成 H4. 2. 14 (補助事業・地方債借入) 主塔～鉄筋コンクリート 5 階建、高さ 17. 75m 延面積 212. 48 m ² 地下防火水槽貯水量 50. 64 m ³ 副塔～鉄骨 2 階建、高さ 10m、延面積 50 m ² 1 階車庫
平成 4. 4. 1 (1992 年)	職員採用 1 人 (欠員補充)
平成 4. 8. 19 (1992 年)	防火・防災用品交付式 (日本消防協会)
平成 4. 9. 4 (1992 年)	防火広報車 (いすゞバン 2000cc) 防火号を日本防火協会から寄贈
平成 5. 3. 1 (1993 年)	大分県高度情報ネットワークシステム端末装置一式購入
平成 5. 4. 1 (1993 年)	職員採用 2 人 (定数 48 人、実員 44 人)
平成 6. 3. 28 (1994 年)	防災用砂置場設置 4m×17m=68 m ² 貯蔵量 50 m ³
平成 7. 4. 1 (1995 年)	職員採用 2 人、補充 4 人 (定数 48 人、実員 46 人)
平成 8. 4. 1 (1996 年)	職員採用 2 人、欠員補充 1 人、定数 48 人、実員 47 人)
平成 8. 9. 19 (1996 年)	消防職員委員会規則の制定
平成 9. 4. 1 (1997 年)	職員採用 1 人 (欠員補充 職員数計 48 人)
平成 9. 8. 18 (1997 年)	査察車 (ニッサンサファリバン 4200cc) 更新購入
平成 9. 9 (1997 年)	航空隊合同防災訓練 (高田港)
平成 9. 12. 26 (1997 年)	定数条例改正 (実員 48 人、定員 51 人)
平成 10. 3. 31 (1998 年)	職員採用 3 人 (職員数計 51 人)
平成 10. 4. 1 (1998 年)	消防本部・署の機構改革 消防本部 2 課 (総務、警防) 6 係 (庶務、人事、警防、救急、 予防、指導)、消防署 5 係 (庶務、警防、救急、予防、指導)、 救急救命士誕生 (1 人)
平成 10. 4. 24 (1998 年)	2 B 型救急車更新 (救急 II 課程仕様)
平成 10. 11. 5 (1998 年)	救急救命士合格 (1 人)

平成 11. 10. 29 (1999 年)	水槽付消防ポンプ自動車 (日野 A-1 級) 積載水量 2.0t 寄贈
平成 12. 5. 9 (2000 年)	救急救命士合格 (1 人)
平成 12. 7. 8 (2000 年)	広報車 (ニッサンバン 1500cc) 更新
平成 12. 12. 9 (2000 年)	救急救命士合格 (1 人)
平成 12. 12. 28 (2000 年)	定数条例改正 (定数 52 人 実員 49 人)
平成 13. 4. 1 (2001 年)	職員採用 3 人 (欠員補充 職員数計 51 人)
平成 13. 9. 11 (2001 年)	潜水士免許取得 3 人
平成 14. 5 (2002 年)	救急救命士合格 (1 人)
平成 14. 11 (2002 年)	救急救命士合格 (1 人)
平成 14. 12. 10 (2002 年)	2B 型救急車 (トヨタ II B) 更新 (救急 II 課程仕様)
平成 15. 1. 22 (2003 年)	香々地無線基地開局
平成 15. 1 (2003 年)	豊後高田市消防団モデル特別点検 (大分北部中核工業団地) 【消防団】
平成 15. 3. 31 (2003 年)	高規格救急車 (トヨタ) 日本損害保険協会より寄贈、受納式及び運用開始式
平成 15. 4. 1 (2003 年)	職員採用 1 人 (欠員補充) 市から 1 人出向 (定数 52 人 実員 50 人) 香々地出張所完成・供用開始
平成 15. 10. 23 (2003 年)	潜水士免許取得 3 人
平成 16. 5 (2004 年)	救急救命士合格 (1 人)
平成 16. 10 (2004 年)	潜水士免許取得 (1 人)
平成 16. 11 (2004 年)	救急救命士合格 (1 人)
平成 17. 3. 30 (2005 年)	高田地域消防組合解散
平成 17. 3. 31 (2005 年)	市町合併に伴い新市消防本部・消防署発足 条例定数 50 人 消防本部 3 課 (総務課、予防課、警防課)、6 係 (消防団係、庶務係、 予防係、警防係、救急係、救助係) 消防署 3 小隊 4 分隊 市町合併に伴い豊後高田市消防団発足 (条例定数 791 人、3 方面団 13 分団 61 部)、60 歳定年制導入
平成 17. 4. 1 (2005 年)	職員採用 1 人 (欠員補充) 市から 2 人出向
平成 17. 11 (2005 年)	救急救命士合格 (1 人)
平成 18. 4. 1 (2006 年)	職員採用 2 人 (欠員補充)
平成 19. 2. 15 (2007 年)	消防ポンプ自動車 (日野 CD-1 型 A-2 級) 4WD 更新
平成 19. 4. 1 (2007 年)	職員採用 2 人 (欠員補充) 市から 4 人出向 (定数 50 人 実員 52 人)、 第 1 次行政改革のもと、消防団組織の再編整備を実施 (条例定数 791 人から 700 人となる。11 分団 57 部)
平成 19. 8. 31 (2007 年)	消防団可搬ポンプ積載車 2 台更新 (8-4、10-1) 【消防団】
平成 20. 1 (2008 年)	消防職員が、香々地庁舎の窓口業務を兼務
平成 20. 3 (2008 年)	基本設計 3 月定例会予算議決

平成 20. 4. 1 (2008 年)	職員採用 2 人 (欠員補充) 定数 50 人、実員 51 人)、市から 3 人出向
平成 20. 4 (2008 年)	豊後高田市消防庁舎建設検討委員会設置
平成 20. 5 (2008 年)	第 1 回建設検討委員会開催
平成 20. 6 (2008 年)	第 2 回建設検討委員会開催
平成 20. 8. 28 (2008 年)	消防団可搬ポンプ積載車 2 台更新 (9-4、9-5)【消防団】
平成 20. 9. 8 (2008 年)	第 3, 4 回建設検討委員会開催
平成 20. 9. 8 (2008 年)	基本設計業務委託契約締結
平成 20. 12 (2008 年)	第 5, 6 回建設検討委員会開催
平成 21. 2 (2009 年)	第 7 回建設検討委員会開催
平成 21. 2. 6 (2009 年)	建設予定地地質調査業務委託契約締結
平成 21. 3. 10 (2009 年)	建設予定地地質調査業務完了
平成 21. 3. 16 (2009 年)	新庁舎基本設計完成
平成 21. 3 (2009 年)	第 8 回建設検討委員会開催
平成 21. 4. 1 (2009 年)	職員採用 2 人 (欠員補充) (定数 50 人 実員 49 人)
平成 21. 6 (2009 年)	実施設計 3 月定例会予算議決
平成 21. 7. 28 (2009 年)	実施設計業務委託契約締結
平成 21. 9. 1 (2009 年)	監理委託契約締結
平成 21. 9. 4 (2009 年)	訓練塔 (副塔) 実施設計業務委託契約締結
平成 21. 9. 15 (2009 年)	小型動力ポンプ付積載車 更新 (10-4)【消防団】
平成 21. 10. 6 (2009 年)	小型動力ポンプ付積載車 購入 (香々地出張所)
平成 21. 11. 10 (2009 年)	訓練塔 (副棟) 実施設計完成
平成 21. 12 (2009 年)	工事請負費 12 月定例会予算議決
平成 22. 1. 15 (2010 年)	新庁舎実施設計完成
平成 22. 1. 25 (2010 年)	訓練塔 (副塔) 新設工事請負契約締結
平成 22. 1. 26 (2010 年)	訓練塔 (副塔) 新設工事着工
平成 22. 2 (2010 年)	建築主体工事請負仮契約締結
平成 22. 3. 1 (2010 年)	大分県防災航空隊に職員 1 名派遣 平成 25 年 3 月 31 日まで (3 年間)
平成 22. 3. 18 (2010 年)	議会議案議決 建築主体工事請負契約締結 電気設備工事請負契約締結 機械設備工事請負契約締結
平成 22. 3. 24 (2010 年)	訓練塔 (副塔) 新設工事請負変更契約締結
平成 22. 3. 25 (2010 年)	新訓練塔 (副塔) 完成
平成 22. 4. 1 (2010 年)	職員採用 4 人 (欠員補充) (定数 50 人 実員 49 人)
平成 22. 4 (2010 年)	施工監理業務委託契約締結、建設予定地の既存施設等撤去工事着工
平成 22. 6. 2 (2010 年)	新消防庁舎起工式
平成 22. 10. 12 (2010 年)	消防救急デジタル無線 電波伝搬調査業務開始
平成 23. 1. 26 (2010 年)	庁舎棟・車庫棟・附属施設完成、新庁舎への引越し及び業務開始

平成 23. 2 (2011 年)	既存庁舎等撤去及び外溝工事着工
平成 23. 2. 24 (2011 年)	消防救急デジタル無線 電波伝搬調査業務完了
平成 23. 3. 10 (2011 年)	Jアラート設置工事
平成 23. 3. 22 (2011 年)	庁舎建設全事業完了・新消防庁舎落成式
平成 23. 3. 28 (2011 年)	消防本部に多目的輸送車（トヨタ CBA-TRH229W）購入・運用開始（ワンボックス ワゴンタイプ仕様）
平成 23. 3. 30 (2011 年)	救急車搭載用半自動体外式除細動器一式・救急救命講習蘇生人形一式購入・共用開始
平成 23. 4. 1 (2011 年)	職員採用 4 人（欠員補充）市へ 1 人出向（定数 50 人 実員 50 人）
平成 23. 4. 14 (2011 年)	大分県消防長会春季総会を本市で開催
平成 23. 4. 15 (2011 年)	大分県消防長会主催第 34 回消防職員意見発表会を本市で開催
平成 23. 7. 14 (2011 年)	平成 23 年度前期県下消防団長会議を本市で開催（～15 日）
平成 23. 10. 1 (2011 年)	消防団員条例定数（700 人から 633 人に）改正
平成 24. 3. 30 (2012 年)	大分県常備消防相互応援協定締結
平成 24. 5. 24 (2012 年)	消防団へ水災害安全対策装備品（ライフジャケット）、貸与（330 着）
平成 24. 6. 25 (2012 年)	緊急消防援助隊支援資機材（エアートント 一式）が無償貸与
平成 24. 7. 2 (2012 年)	消防団へ救助用資機材貸与（全分団）【消防団】
平成 24. 8. 7 (2012 年)	消防団へ小型動力ポンプ付積載車引渡（第 6 分団第 6 部）【消防団】
平成 24. 9. 21 (2012 年)	非接触型静脈可視化装置一式を購入
平成 25. 1. 29 (2013 年)	高規格救急車（日産）日本損害保険協会より寄贈、受納式及び運用開始式
平成 25. 3. 31 (2013 年)	県下 18 市町村大分県消防団相互応援協定締結【消防団】
平成 25. 4 (2013 年)	救急救命士合格（1 人）
平成 25. 11. 22 (2013 年)	消防団小型動力ポンプ（B-3 級） 更新（2-4、4-5、11-3）【消防団】
平成 26. 1. 31 (2014 年)	消防救急デジタル無線整備実施設計完成
平成 26. 3. 27 (2014 年)	遠隔画像伝送システム導入
平成 26. 4 (2014 年)	救急救命士合格（1 人）
平成 26. 12. 17 (2014 年)	消防団小型動力ポンプ（B-3 級） 更新（1-4、2-2、3-1）【消防団】
平成 27. 3. 31 (2015 年)	消防救急デジタル無線通信指令設備整備工事完成
平成 27. 4. 1 (2015 年)	職員採用 2 人（定数 50 人 実員 47 人）
平成 27. 12. 1 (2015 年)	消防団防災広報車（日産バネット）日本消防協会より寄贈
平成 27. 12. 22 (2015 年)	総務省から市へ救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の貸与 消防団（1-1）に配備【消防団】
平成 27. 12. 22 (2015 年)	消防団小型動力ポンプ（B-3 級） 更新（3-3、5-6、10-3）【消防団】
平成 28. 4. 1 (2016 年)	消防団本部付女性部（実員 10 名）発足【消防団】
平成 28. 11. 29 (2016 年)	高規格救急車（トヨタ）購入《高救 2》
平成 29. 2. 3 (2017 年)	消防団小型動力ポンプ（B-3 級） 更新（4-3、5-2、10-5）【消防団】

平成 29. 4. 1 (2017 年)	職員採用 1 人
平成 30. 2. 20 (2018 年)	消防団小型動力ポンプ (B-3 級 4 ストローク) 更新 (2-3、3-5、9-1)
平成 30. 3. 9 (2018 年)	高規格救急車 (トヨタ) 購入 ≪高救 1≫
平成 31. 3. 25 (2019 年)	救助工作車 II 型 (日野) 購入 ≪高消 4≫ 救助資機材一式
令和 元. 9. 20 (2019 年)	消防団小型動力ポンプ (B-3 級 4 ストローク) 更新 (5-3、6-3、11-1)
令和 元. 12. 9 (2019 年)	防災活動車 (三菱デリカ D5) 寄贈 公益社団法人 日本消防協会
令和 2. 2 (2020 年)	消防タンク車購入 (日野) ≪高消 3≫
令和 2. 4. 1 (2020 年)	職員採用 2 人
令和 3. 3 (2021 年)	救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車貸与 (消防団 2-1)
令和 3. 4. 1 (2021 年)	職員採用 2 人
令和 4. 3. 6 (2022 年)	救助用資機材搭載型消防ポンプ自動車貸与 (消防団 1-2) 小型動力ポンプ付き積載車 (消防団 3-1. 10-6)
令和 5. 3. 19 (2023 年)	救助用資機材小型動力ポンプ搬送車貸与 (消防団 2-4) 小型動力ポンプ付き積載車 (消防団 10-3. 10-5)

1-6 歴代消防長、消防署長

歴代消防長

歴代	氏名	在職期間	在職年数	備考
初代	水之江俊彦	昭和45年11月1日～昭和58年3月31日	12年5月	
2代	橋本公則	昭和58年4月1日～昭和63年3月31日	5年	
3代	倉田安雄	昭和63年4月1日～昭和63年12月31日	9月	管理者
4代	植木一雄	昭和64年1月1日～平成9年3月31日	8年4月	
5代	永野修	平成9年4月1日～平成13年3月31日	4年	
6代	後藤俊信	平成13年4月1日～平成15年3月31日	2年	
7代	安藤義文	平成15年4月1日～平成20年3月31日	5年	
8代	福光博文	平成20年4月1日～平成22年3月31日	2年	
9代	田中穂波	平成22年4月1日～平成23年3月31日	1年	
10代	門岡博通	平成23年4月1日～平成24年3月31日	1年	
11代	後藤勲	平成24年4月1日～平成26年3月31日	2年	
12代	渡邊和幸	平成26年4月1日～平成28年3月31日	2年	
13代	榎本久光	平成28年4月1日～平成29年3月31日	1年	
14代	宗高德	平成29年4月1日～令和2年3月31日	3年	
15代	隈井智	令和2年4月1日～令和3年3月31日	1年	
16代	榎本賢二	令和3年4月1日～令和5年3月31日	2年	
17代	友久優	令和5年4月1日～		

歴代署長

歴代	氏名	在職期間	在職年数	備考
初代	水之江俊彦	昭和45年11月1日～昭和58年3月31日	12年5月	消防長兼務
2代	植木一雄	昭和58年4月1日～昭和63年3月31日	2年11月	
3代	橋本公則	昭和61年3月1日～昭和63年3月31日	2年1月	消防長兼務
4代	近藤寿治	昭和63年4月1日～平成7年3月31日	7年	
5代	植木一雄	平成7年4月1日～平成8年3月31日	1年	消防長兼務
6代	後藤俊信	平成8年4月1日～平成13年3月31日	5年	
7代	安藤義文	平成13年4月1日～平成15年3月31日	2年	
8代	後藤公則	平成15年4月1日～平成19年3月31日	4年	
9代	田中穂波	平成19年4月1日～平成22年3月31日	3年	
10代	門岡博通	平成22年4月1日～平成23年3月31日	1年	
11代	板井雅彦	平成23年4月1日～平成26年3月31日	3年	
12代	宗高德	平成26年4月1日～平成29年3月31日	3年	

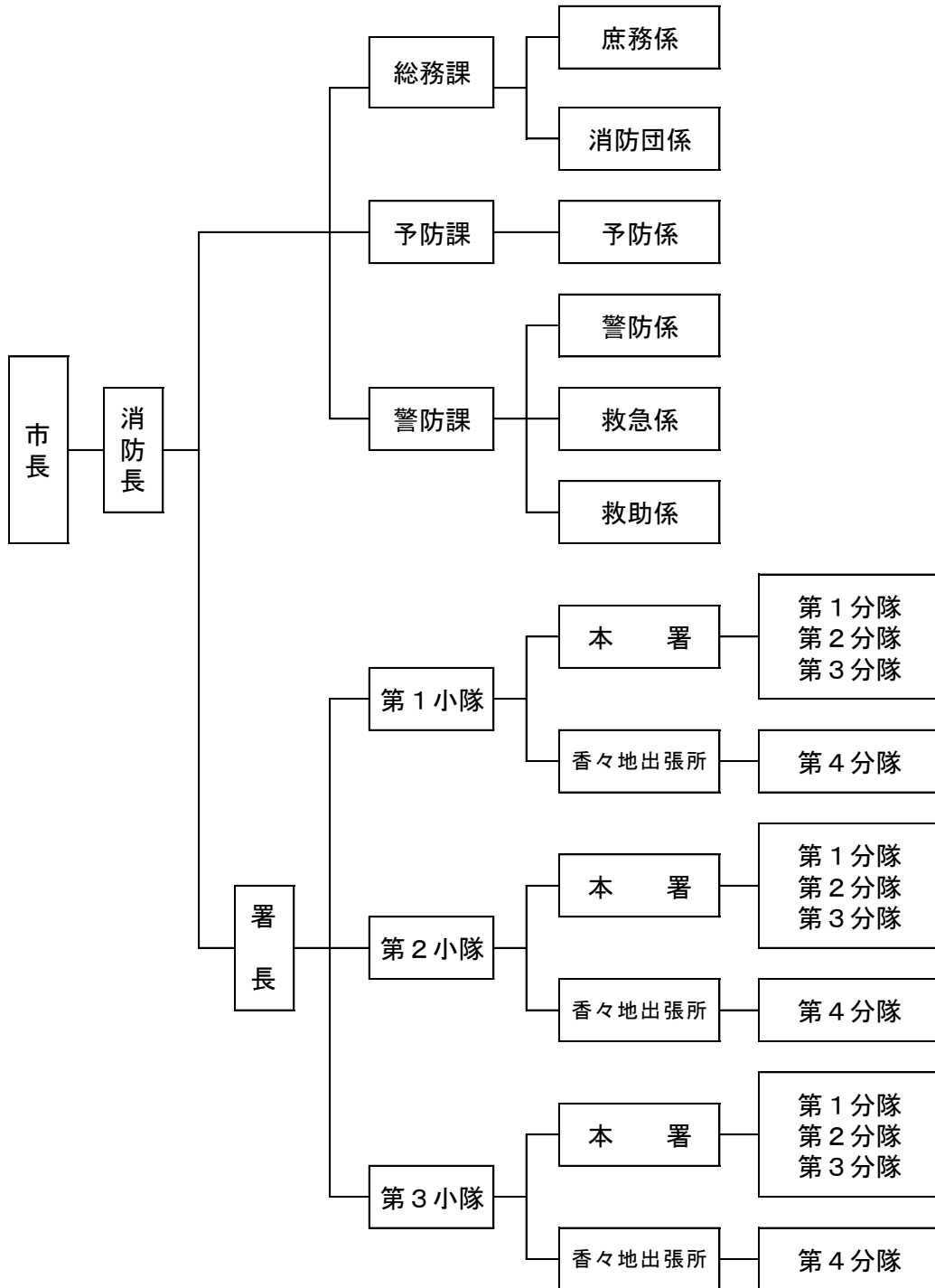
13代	隈井 智	平成29年 4月 1日 ~ 令和 2年 3月31日	3年	予防・警防課長兼務
14代	高橋 幸次	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日	1年	
15代	友久 優	令和 3年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月31日	2年	予防課長兼務
16代	小川 精一	令和 5年 4月 1日~		予防課長兼務

総務



2 総務

2-1 消防本部・消防署機構図 (令和5年4月1日現在)



2-2 事務分掌

○総務課

庶務係

- (1) 財産の使用管理に関すること。
- (2) 職員の人事に関すること。
- (3) 職員等の教養、服務及び規律に関すること。
- (4) 職員等の公務災害及び福利厚生に関すること。
- (5) 消防職員委員会に関すること。
- (6) 公印の保管及び文書、統計等に関すること。
- (7) 消防表彰に関すること。
- (8) 貸与品に関すること。
- (9) 消防広報に関すること。
- (10) 他の係に属しない事務に関すること。

消防団係

- (1) 財産の使用管理に関すること。
- (2) 消防団員の人事に関すること。
- (3) 消防団員の教養、服務及び規律に関すること。
- (4) 消防団員の公務災害及び福利厚生に関すること。
- (5) 消防団員の表彰に関すること。
- (6) 貸与品に関すること。
- (7) その他の消防団に関すること。

○予防課

予防係

- (1) 火災の原因及び損害の調査に関すること。
- (2) 火災調査資料の収集、分析、統計及び保存に関すること。
- (3) 予防査察の計画、実施及び違反処理の指導に関すること。
- (4) 防火思想の普及及び消防広報に関すること。
- (5) 防火管理者及び防火クラブの育成に関すること。
- (6) 建築許可等の同意及び通知に関すること。
- (7) 消防用設備等の指導及び消防設備士の育成、指導に関すること。
- (8) 火気使用設備等の指導に関すること。
- (9) 防火対象物の規制に関すること。
- (10) 住宅防火診断に関すること。

- (11) 備品の使用管理に関する事。
- (12) その他の火災予防に関する事。
- (13) 危険物製造所等の許可、認可、届出及び検査に関する事。
- (14) 危険物製造所等の指導、取り締まりに関する事。
- (15) 液化石油ガス及び火薬の許可等の意見書に関する事。
- (16) 危険物安全協会に関する事。
- (17) 危険物の規制に関する事。
- (18) その他の危険物関係の調査、指導に関する事。

○警防課

警防係

- (1) 警防計画及び統計に関する事。
- (2) 火災及びその他の災害の警戒、防ぎよに関する事。
- (3) 消防相互応援に関する事。
- (4) 機械器具の整備、保全及び研究改善に関する事。
- (5) 機械器具の操作技術の研究及び指導に関する事。
- (6) 訓練、演習及び地理、水利に関する事。
- (7) 消防団及び事業所等の訓練、指導に関する事。
- (8) 豊後高田市火災予防条例（平成17年豊後高田市条令第140号）による届出等に関する事。
- (9) 高圧ガス保安法（昭和26年法律第204号）に基づく整備、管理に関する事。
- (10) 消防車両、機械器具の使用、維持管理に関する事。
- (11) 消防車両の運転及び整備技術の指導に関する事。
- (12) 消防車両の燃料管理に関する事。
- (13) 通信設備の整備及び管理に関する事。
- (14) 消防通信業務に関する事。
- (15) 災害現場の情報収集に関する事。
- (16) 災害情報、気象状況及び広報に関する事。
- (17) 災害に関する報告及び統計に関する事。
- (18) 開発行為による水利の協議事項に関する事。
- (19) 自主防災組織の推進に関する事。
- (20) 消防職員の勤務編成に関する事。
- (21) 消防職員の教養、訓練及び服務に関する事。
- (22) 職員等の安全対策に関する事。
- (23) 備品の使用管理に関する事。
- (24) その他警防に関する事。

救急係

- (1) 救急業務に関すること
- (2) 救急の統計、報告及び証明に関すること。
- (3) 救急資器材の整備に関すること。
- (4) 救急の教育訓練に関すること。
- (5) 機械器具の保全及び点検に関すること。
- (6) 人工呼吸法及び応急措置の指導に関すること。
- (7) 医師会、医療機関等との連絡調整に関すること。
- (8) その他救急に関すること。

救助係

- (1) 潜水業務に関すること。
- (2) 統計及び報告に関すること。
- (3) 救助及び潜水資器材の整備に関すること。
- (4) 救助及び潜水の教育訓練に関すること。
- (5) 機械器具の保全及び点検に関すること。
- (6) その他救助に関すること。

2-3 豊後高田市災害対策本部組織図

豊後高田市災害対策本部規程 別表第1 (第5条関係)

部	部長	副部長	係	係長	係員
消防部	消防長	消防本部総務課長 消防署長	消防係	消防署長(兼)	消防本部職員

2-4 豊後高田市災害対策本部事務分掌

豊後高田市災害対策本部規程 別表第2 (第5条関係)

部	係	分掌事項
消防部	消防係	(1) 気象情報、予報、警報等の収集伝達に関すること。 (2) 市民に対する災害情報の広報に関すること。 (3) 災害に対する警戒及び防御に関すること。 (4) 消防団員の動員及び配備に関すること。 (5) 避難勧告、指示による避難者の誘導及び救助に関すること。 (6) 人命救助及び救急活動に関すること。 (7) 行方不明者の捜索に関すること。 (8) 災害通信の運用に関すること。 (9) 各部の業務援助に関すること。

2-5 消防庁舎の現況

(1) 庁舎関係

名 称	構 造	概 要
豊後高田市 消防本部・ 消防署	総事業費 389,544,750 円 H23.3.15 完成 ・ 消防庁舎棟 鉄筋コンクリート 2 階建 ・ 車庫棟 鉄骨平屋建 ・ 団車庫棟 鉄骨平屋建	【敷地面積】 約 6,300 m ² 【建築面積】 780.62 m ² 【延床面積】 1,275.14 m ² ・ 消防庁舎棟 839.75 m ² (1 階) 462.59 m ² (2 階) 377.16 m ² ・ 車庫棟 302.81 m ² ・ 団車庫棟 132.58 m ²
豊後高田市 消防署 香々地出張所	総事業費 22,493,500 円 H15.4.1 完成 ・ 木造一部鉄骨造 平屋建	【敷地面積】 472.59 m ² 【延床面積】 186.66 m ²

(施設の概要)

- 1 階 : 消防署事務室、通信指令室、出動待機室、消防装具室、救急装具室、倉庫、多目的トイレ
- 2 階 : 消防本部事務室、消防長室、会議室、非常用備蓄倉庫、書庫、男女トイレ
- 車庫棟 : 緊急車両 6 台駐車、資機材倉庫、水防倉庫
- 付属施設 : 消防団車庫倉庫、駐車場 (61 台駐車可)、駐輪場

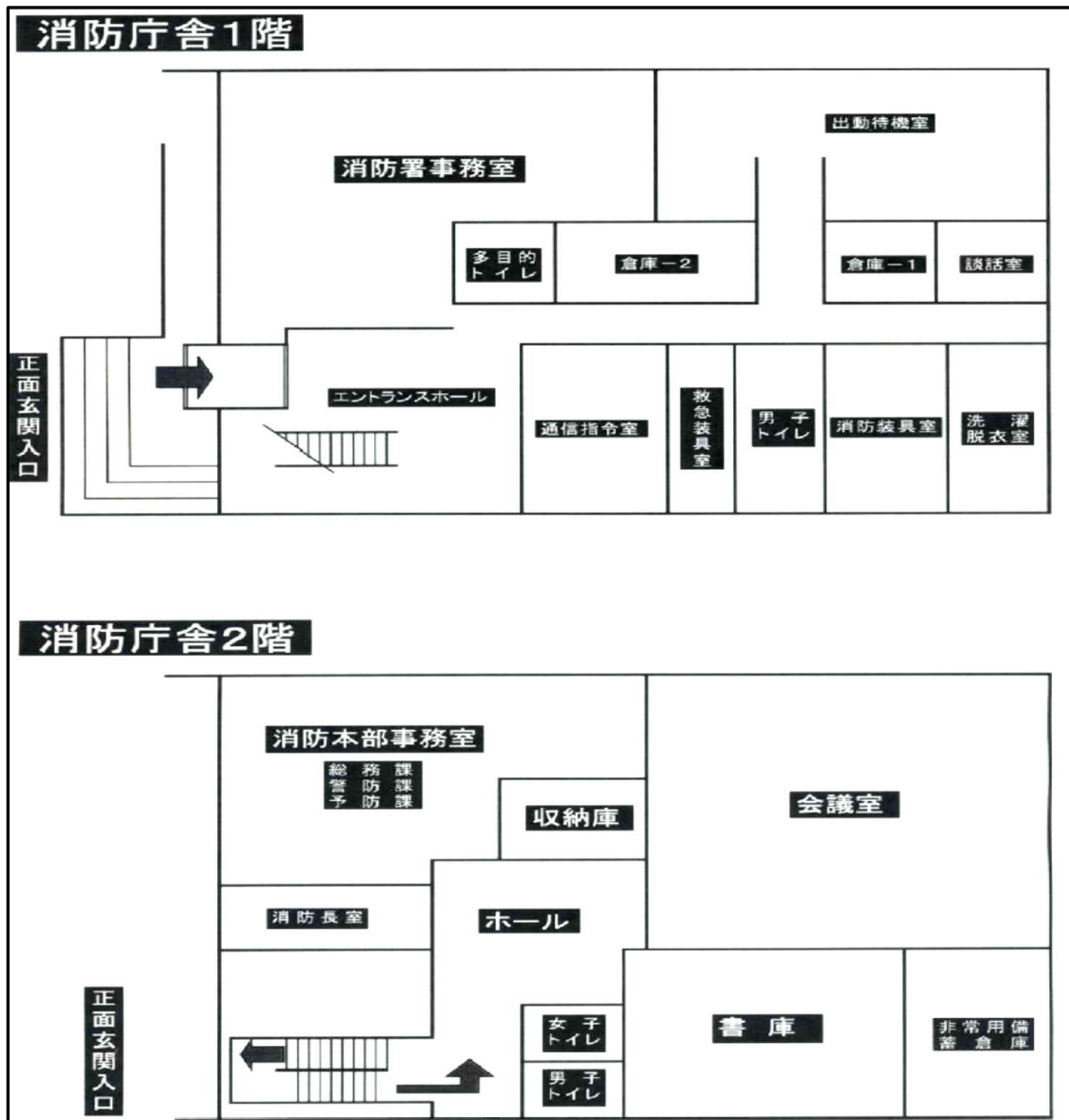
(特 徴)

- ・ 大規模地震にも耐えられる強固な構造
- ・ 出動しやすく、機能的でコンパクトな構造
- ・ 非常災害に対応するため、備蓄倉庫及び水防倉庫を併設
- ・ 地球温暖化対策として、太陽光発電設備を設置
- ・ 訓練塔と一体的に整備した広い訓練スペース

(2) 訓練塔関係

名称	構造	概要
訓練塔主塔	総事業費 38,662,921 円 H3. 8. 25 完成 ・鉄筋コンクリート造 5 階建 (地下・防火水槽 50.64 m ³)	【延床面積】 212.48 m ² 【高さ】 17.75m
訓練塔副塔	総事業費 5,017,950 円 H22. 3. 25 完成 ・鉄骨造 2 階建	【延床面積】 50.00 m ² 【高さ】 10.00m

(3) 消防庁舎平面図



(4) 消防救急無線のデジタル化・通信指令台関係

消防救急無線については、これまで使用しておりましたアナログ方式の使用期限が平成28年5月31日までとなっていることから、デジタル方式の無線に移行しました。

さらに、この整備に併せて、これまでは119番通報を受信した際、地図で場所を確認していましたが、通報の受信と同時に画面上で短時間に検索できる通信指令台を新たに導入し、平成27年4月1日から運用を開始しました。

(施設の概要)

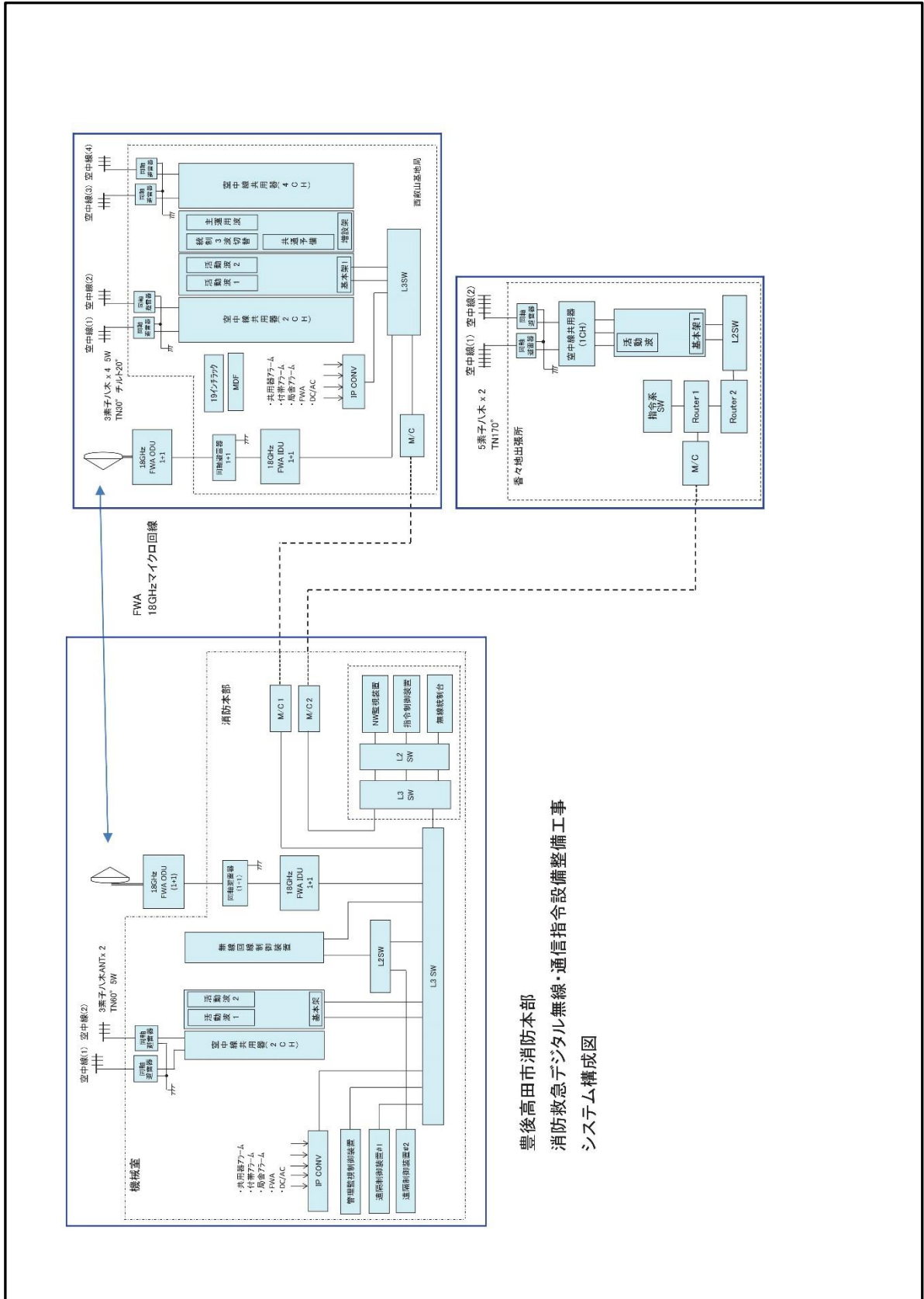
総事業費 352,753千円(緊急防災・減災事業債)
平成27年3月31日完成

区分	事業概要	事業費
消防本部	1局 (通信指令台設備含む)	202,782千円
西叡山基地局	1局	101,337千円
香々地基地局	1局	15,226千円
移動局設備	車載型 12台 携帯型 11台	33,408千円
計		352,753千円

(特徴)

- ・ 消防救急無線で使用できる周波数(チャンネル数)が増え、大規模災害等への対応が強化されました。
- ・ 新たに基地局を設置し、消防救急無線の通信エリアがさらに広がりました。
- ・ 無線の秘匿性が高く、個人情報の保護がさらに向上します。
- ・ 新たに通信指令台の導入により、119番通報を受けた際、通報者の場所が画面上ですぐに確認できるため、より迅速な出動が可能となりました。
- ・ 火災発生時等に電話で録音メッセージにより確認ができる市民情報案内番号を開設しました。

(5) 消防救急デジタル無線・通信指令システム構成図



豊後高田市消防本部
消防救急デジタル無線・通信指令設備整備工事
システム構成図

2-6 消防予算

(1) 消防予算と一般会計予算との比較

(単位：千円)

区 分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
一般会計予算	16,609,400	15,136,434	14,998,160	14,954,705	16,985,755
消防予算	601,058	505,805	554,014	495,570	509,868
消防予算の割合	3.62%	3.34%	3.69%	3.31%	3.00%

※平成 26 年度は、消防救急無線デジタル化工事費 (358,460 千円) を含む。

(2) 消防予算の細目

(単位：千円)

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
常備消防費	504,429	402,814	444,425	389,625	401,745
非常備消防費	63,421	70,602	70,314	71,286	78,045
消防施設費	8,777	18,796	24,992	15,791	16,099
水 防 費	3	3	3	3	3
災害対策費	24,428	13,590	14,280	18,865	13,976
合 計	601,058	505,805	554,014	495,570	509,868

(3) 消防予算に対する比較

項目 \ 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
人口 1 人当りの 消防予算	26,493 円	22,424 円	24,684 円	22,330 円	23,048 円
	22,687 人	22,556 人	22,444 人	22,193 人	22,122 人
1 世帯当たりの 消防予算	55,912 円	46,493 円	50,771 円	45,950 円	46,520 円
	10,750 世帯	10,879 世帯	10,912 世帯	10,785 世帯	10,960 世帯

2-7 職員配置表 (令和5年4月1日現在)

(単位：人)

階級 所属		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	計
		消防本部	消防長	1					
次長									
総務課			(5)	(1)		(1)	(3)	3	3(10)
警防課			1(7)	(6)	(2)	(5)	(5)		1(25)
予防課			2(1)	1(1)	(2)	(1)			3(5)
休職者									
計	1		3(13)	1(8)	(4)	(7)	(8)	3	8(40)
消防署	署長		(1)						(1)
	副署長		1						1
	第1小隊		3	2	2	2	2		11
	第2小隊		5	3		3	3		14
	第3小隊		4	3	2	2	3		14
	新採用								
	休職者								
計		13(1)	8	4	7	8		40(1)	
合計		1	16(14)	9(8)	4(4)	7(7)	8(8)	3	48(41)

※ () は、本部内又は署内の兼務

※消防学校や防災航空隊等の出向中の職員は、その他職員（総務課）とする

※会計年度任用職員は除く

※副署長は第1小隊長である（副署長欄へ記入）

2-8 職員の定数及び階級別実員（令和5年4月1日現在）

（単位：人）

区分 年度	定数	実員	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員
平成30年度	50	49	1	13	14	1	8	10	2 (4)
令和元年度	50	49	1	13	14	1	8	10	2 (2)
令和2年度	50	49	1	12	12	0	10	12	2 (2)
令和3年度	50	49	1	13	12	0	10	10	3 (2)
令和4年度	50	48	1	16	9	4	7	8	3 (3)

※（ ）は、会計年度任用職員である。出向中職員は、その他職員とする。

2-9 職員勤続年数表（令和5年4月1日現在）

（単位：人）

階級別 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	計
3年未満						2	2 (1)	4 (1)
3年以上 ～5年未満						4		4
5年以上 ～10年未満					2	2		4
10年以上 ～15年未満				4	5			9
15年以上 ～20年未満		1	5				1	7
20年以上 ～25年未満			4					4
25年以上 ～30年未満	1	13						14
30年以上		2					(2)	2 (2)
計	1	16	9	4	7	8	3 (3)	48 (3)

※（ ）は、会計年度任用職員である。出向中職員は、その他職員とする。

2-10 職員年齢構成表 (令和5年4月1日現在)

(単位:人)

階級別 年数	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他職員	計
20歳未満								
20歳以上 ～25歳未満						4	(1)	4(1)
25歳以上 ～30歳未満					1	4		5
30歳以上 ～35歳未満					6		1	7
35歳以上 ～40歳未満			2	4				6
40歳以上 ～45歳未満			5					5
45歳以上 ～50歳未満		7	2					9
50歳以上	1	9					2(2)	12(2)
計	1	16	9	4	7	8	3(3)	48(3)

※ () は、会計年度任用職員である。出向中職員は、その他職員とする。

2-11 各種資格取得状況 (令和5年4月1日現在)

(単位：人)

資 格 \ 階 級			消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	計
			1	16	9	4	7	8	6	51
自動車 運転免許	大 型	1種	1	12	7	1	3	1	1	26
		特殊		3	2	1	1			7
	中 型				3	4	4	1	12	
	普 通	8t 限定	1	16	9	2			4	32
		5t 限定				2	7	8	2	19
	二 輪	大型		3	3		1	1		8
		普通 400	1	8	3	1	1			14
普通 125									0	
危険物 取扱者	乙 種	第1類	1	1	2		1			5
		第2類		1	2		1			4
		第3類		1	2					3
		第4類	1	2	3	2				8
		第5類	1	1	2		1			5
		第6類		1	2		1			4
消 防 設備士	乙 種	第6類	1	1	2	2	1			7
救急救 助資格	救 急 I 課 程			5					2	7
	救 急 II 課 程			5					2	7
	救 急 標 準 課 程		1	11	6	3	6		1	28

資格		階 級		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	計
救 急 救 助 資 格	救助資格			13	6	3	3	1	2	28	
	救急救命士			6	3	1	2	6	2	22	
	救 急 救 命 士	気管挿管			6	1	1			1	9
		薬剤投与			6	3	1	2	6	2	20
		静脈路確保			6	3	1	2	6	1	19
予 防 技 術 資 格	防火査察		1	2	2	2				7	
	消防設備		1	1	2	2				6	
	危険物		1	2	2	2				7	
無 関 線 係	陸上特殊 無線技師	第2級	1	15	5		1		2	24	
		第3級		1	4	4	7	8	2	26	
	アマチ ュア無 線技師	1級									
		2級									
		3級			1						
		4級		2	2					1	5
特 殊 技 能	クレーン										
	小型移動クレーン運 転技能			11	6	4	5		1	27	
	玉掛技能免許			11	6	4	5		1	27	
	巻上機運転免許			11	6	4	5		1	27	
	フォークリフト運転 技術士										
小型船舶操縦士	1級		1	2		1				4	
	2級	1	3		1	1	3	1	10		
潜水士免許		1	16	8	4	7	8	3	47		
自動車整備士											
第1種衛生管理者			1						1	2	
ガス溶接技能士			2	1						3	
酸素欠乏危険作業主任者			10	8		1			1	20	
防災士			9	2					3	14	
着衣泳指導員			2							2	

2-12 消防職員表彰受賞状況 (令和5年3月31日現在)

(単位：人)

区 別 \ 年 度		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
消防庁長官	功労章					
	永年勤続功労章	1	1			2
大分県知事	功労章			2		
	永年勤続功労章	2		1	1	2
日本消防協会長	功績章					1
	精績章					
	勤続章	2				9
	永年勤続功労章					
全国消防長会長	20年勤続					
	30年勤続	2				
全国消防協会	優良消防職員表彰					
大分県消防協会長	20年勤続	3			3	19
	25年勤続		2	6	3	18
	30年勤続	2				8
	35年勤続	1				7
合 計		13	3	9	7	66

2-13 職員の消防学校・消防大学校等入校状況

(単位：人)

年度		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
区 分							
消防大学校	新任消防長科						
	警防科						
救急救命 九州研修所	薬剤投与追加講習						
	救急救命士養成						
	指導救命士養成		1			1	
大 分 県 消 防 学 校	初任教育		1	2	2	2	
	専 科 教 育	警防科		2		2	
		特殊災害科		2		2	
		予防査察科	1		1		1
		火災調査科		1		1	
		救急科					
		救助科	2		2		2
	幹 部 教 育	初級幹部科					
		中級幹部科					
		上級幹部科					
	特 別 教 育	特殊技能講習	2	2	3	3	3
		訓練礼式指導者研修					
		水災防ぎょ研修					
		気管挿管講習					
		消防操法指導者研修	3				3
救急救命士の処置範囲拡大に係る追加講習		1					

予 防



3 予 防

3-1 防火対象物の現況

(延べ面積 150 m²以上 令和5年3月31日現在)

項別	用 途	施設数
1	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場館	1
	ロ 公会堂又は集会場	20
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等	
	ロ 遊技場又はダンスホール	1
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ カラオケボックス等	
3	イ 待合、料理店等	
	ロ 飲食店	22
4	百貨店、店舗又は展示場等	35
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所等	7
	ロ 寄宿舍、下宿又は共同住宅	81
6	イ 病院、診療所又は助産所	13
	ロ 養護老人ホーム、有料老人ホーム等	10
	ハ 老人デイサービス、保育所等	34
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	2
7	小、中、高等学校等	40
8	図書館、博物館、美術館等	6
9	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等	
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2
10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	1
11	神社、寺院、教会等	60
12	イ 工場又は作業場	102
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ	
13	イ 自動車車庫又は駐車場	1
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
14	倉庫	78
15	前各号に該当しない事業場	101
16	イ 特定を含む複合用途防火対象物	59
	ロ 16 項イ以外の複合用途防火対象物	11
16 の 2	地下街	
16 の 3	建築物の地階等	
17	重要文化財等	
18	延長 50 メートル以上のアーケード	
19	市町村長の指定する山林	
20	総務省令で定める舟車	
計		687

3-2 消防用設備等設置件数

(単位：件)

区 分		年 度				
		平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
消 火 設 備	消火器	9	7	5	17	24
	屋内消火栓設備	2	1	2	2	2
	屋外消火栓設備	1			1	2
	スプリンクラー設備	1	1		2	
	泡消火設備					
	粉末消火設備					
	パッケージ型消火設備	1	3	1		1
	パッケージ型自動消火設備					
警 報 設 備	自動火災報知設備	18	17	14	21	22
	非常警報設備	3	2			3
	ガス漏れ火災警報設備					
	火災通報装置	3	8		1	1
	漏電火災警報器					
避 難 設 備	避難器具	1	1		1	
	誘導灯	7	6	4	9	7
消 防 用 設 備 等	連結送水管					
	排煙設備					

3-3 予防関係届出処理状況

(単位：件)

区 分		年 度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
消 防 法 関 係	防火管理者選（解）任届		28	39	25	28	33
	消防計画作成（変更）届		33	46	34	33	37
	消防用設備等着工届		21	20	10	24	30
	消防用設備等設置届		48	46	26	58	64
	消防用設備等 点検結果報告書		251	251	280	277	300
	圧縮アセチレンガス等貯蔵取 扱届		3		13	13	4
火 災 予 防 条 例 関 係	防火対象物使用開始届		20	23	15	31	34
	炉、かまど、ボイラー等設置 届		4		3	3	9
	変電、燃料電池発電、発電蓄 電池設備設置届		14	6	3	21	13
	ネオン管灯設備設置届						
	水素ガスを充てんする気球の 設置届						
	少量危険物貯蔵取扱届出書		9	6	8	11	14
	催物開催届出書						
計			431	437	417	499	538

3-4 防火管理の状況 (令和5年3月31日現在)

(単位：件)

項別	用途	法第8条対象物	選任済対象物	消防計画届出
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場館		
	ロ	公会堂又は集会場	17	16
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等		
	ロ	遊技場又はダンスホール	1	1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等		
	ニ	カラオケボックス等		
3	イ	待合、料理店等		
	ロ	飲食店	13	8
4		百貨店、店舗又は展示場等	29	26
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	3	3
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	8	5
6	イ	病院、診療所又は助産所	3	3
	ロ	養護老人ホーム、有料老人ホーム等	10	10
	ハ	老人デイサービス、保育所等	15	15
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	1	1
7		小、中、高等学校等	10	10
8		図書館、博物館、美術館等	4	2
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等		
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2	2
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場		
11		神社、寺院、教会等	3	3
12	イ	工場又は作業場	10	10
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ		
13	イ	自動車車庫又は駐車場		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫		
14		倉庫		
15		前各号に該当しない事業場	14	12
16	イ	特定を含む複合用途防火対象物	33	26
	ロ	16項イ以外の複合用途防火対象物	4	4
16の2		地下街		
16の3		建築物の地階等		
17		重要文化財等		
18		延長50メートル以上のアーケード		
19		市町村長の指定する山林		
20		総務省令で定める舟車		
計			180	157

3-5 建築確認用途別申請内訳 防火対象物数（300㎡以上）

（単位：件）

用途 \ 年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
映画館・観覧場等					
公会堂・集会場					
遊技場等					
飲食店					
物品販売店舗					
旅館・ホテル					1
共同住宅		1	1		
病院・診療所				1	1
老人福祉施設等	3	1		2	
学校					
展示場					
公衆浴場					
神社・寺院・教会					
工場・作業場	2	1	2		4
車庫・駐車場					
倉庫	2		2	2	2
事務所等	1	1		7	1
複合用途防火対象物		2			1
専用住宅	4	3		2	5
併用住宅					
その他の工作物					
計	12	9	5	14	

3-6 防火対象物の立入検査実施状況（令和4年度中）

（単位：件）

項別	用途	件数
1	イ 劇場、映画館、演芸場又は観覧場館	
	ロ 公会堂又は集会場	4
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等	
	ロ 遊技場又はダンスホール	
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ カラオケボックス等	
3	イ 待合、料理店等	
	ロ 飲食店	5
4	百貨店、店舗又は展示場等	19
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所等	36
	ロ 寄宿舍、下宿又は共同住宅	1
6	イ 病院、診療所又は助産所	
	ロ 養護老人ホーム、有料老人ホーム等	
	ハ 老人デイサービス、保育所等	
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	
7	小、中、高等学校等	1
8	図書館、博物館、美術館等	2
9	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等	
	ロ イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	
10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	
11	神社、寺院、教会等	
12	イ 工場又は作業場	14
	ロ 映画スタジオ又はテレビスタジオ	
13	イ 自動車車庫又は駐車場	1
	ロ 飛行機又は回転翼航空機の格納庫	
14	倉庫	4
15	前各号に該当しない事業場	19
16	イ 特定を含む複合用途防火対象物	12
	ロ 16項イ以外の複合用途防火対象物	1
16の2	地下街	
16の3	建築物の地階等	
17	重要文化財等	
18	延長50メートル以上のアーケード	
19	市町村長の指定する山林	
20	総務省令で定める舟車	
計		119

3-7 危険物施設数と倍数 (令和5年3月31日現在)

(単位：件)

施設区分 倍数・類別	製造所	貯蔵所								取扱所					合計	
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所		小計
倍数別	5倍以下	4	6	1	10	9		1	31					6	6	37
	5倍超 10倍以下	2	7		2				11	4				4	8	19
	10倍超 50倍以下	1	2		3	2			8	8				5	13	21
	50倍超 100倍以下				1				1	9				2	11	12
	100倍超 150倍以下									3					3	3
	150倍超 200倍以下									3					3	3
	200倍超 1,000倍以下									2					2	2
	1,000倍超 5,000倍以下															
	5,000倍超															
	小計	7	15	1	16	11		1	51	29				17	46	97
類別	単独	第1類														
		第2類														
		第3類														
	混在	第4類	7	15	1	16	11		1	51	29			16	45	96
		第5類														
		第6類														
合計	7	15	1	16	11		1	51	29				17	46	97	

3-8 危険物施設数の推移

(単位：件)

施設区分		年度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
製 造 所							
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	8	8	8	7	7	
	屋外タンク貯蔵所	17	17	17	16	15	
	屋内タンク貯蔵所	1	1	1	1	1	
	地下タンク貯蔵所	17	17	17	17	16	
	簡易タンク貯蔵所						
	移動タンク貯蔵所	11	11	11	11	11	
	屋 外 貯 蔵 所	1	1	1	1	1	
	小 計	55	55	55	53	51	
取 扱 所	給 油 取 扱 所	29	29	29	29	29	
	第一種販売取扱所	1					
	第二種販売取扱所						
	移 送 取 扱 所						
	一 般 取 扱 所	19	19	19	18	17	
	小 計	49	48	48	47	46	
合 計		104	103	103	100	97	

3-9 危険物規制許認可事務処理状況、危険物製造所等の 手数料収入状況

(1) 危険物規制許認可事務処理状況 (令和4年度中)

(単位：件)

施設区分		申請区分	設 置 許 可	変 更 許 可	完成検査 前検査	完成検査		仮使用 承認
						設置	変更	
貯 蔵 所	屋内貯蔵所							
	屋外タンク貯蔵所			1			1	
	屋内タンク貯蔵所							
	地下タンク貯蔵所							
	移動タンク貯蔵所			1			1	
	屋外貯蔵所							
	小計			2			2	
取 扱 所	給油取扱所			12	3		12	11
	第一種販売取扱所							
	一般取扱所			7			10	7
	小計			19	3		22	18
合計				21	3		24	18

(2) 危険物製造所等の手数料収入状況 (令和4年度中)

(単位：千円)

施設区分		申請区分	設 置 許 可	変 更 許 可	完成検査 前検査	完成検査		仮使用 承認	仮貯蔵 仮取扱	計
						設置	変更			
貯 蔵 所	屋内貯蔵所									
	屋外タンク貯蔵所			10			5			15
	屋内タンク貯蔵所									
	地下タンク貯蔵所									
	移動タンク貯蔵所			13			6.5			19.5
	屋外貯蔵所									
	小計			23			11.5			34.5
取 扱 所	給油取扱所			312	33		156	59.4		560.4
	第一種販売取扱所									
	一般取扱所			196.5			98.25	37.8		332.55
	小計			508.5	33		254.25	97.2		892.95
合計				531.5	33		265.75	97.2		927.45

3-10 危険物関係申請・届出受理状況

(単位：件)

区 分 \ 年 度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
設 置 許 可 申 請					
変 更 許 可 申 請	6	8	10	17	21
完 成 検 査 申 請	5	9	7	20	21
仮 使 用 承 認 申 請	6	8	10	17	18
仮 貯 蔵 仮 取 扱 申 請					
譲 渡 引 渡 届					
種 類 数 量 変 更 届	2	2	1	2	4
保 安 監 督 者 選 任 解 任 届	10	12	3	6	5
廃 止 届		1		3	3
計	29	40	31	65	72

3-11 危険物施設の立入検査実施状況 (令和4年度中)

(単位：件)

施設区分		件数
貯蔵所	屋内貯蔵所	5
	屋外タンク貯蔵所	4
	屋内タンク貯蔵所	
	地下タンク貯蔵所	5
	移動タンク貯蔵所	3
	屋外貯蔵所	
	小計	17
取扱所	給油取扱所	21
	第一種販売取扱所	
	一般取扱所	10
	小計	31
合計		48

警 防



4 警 防

4-1 消防車両の配置状況

(令和5年3月31日現在)

種類	呼 称 名	メーカー	種 別	本 部			消防署	
				総務課	警防課	予防課	本署	香々地出張所
消防車	たかしょう1	日野 レンジャー	水槽付消防車				○	
	たかしょう2	日野 デュトロ	災害対応特殊 ポンプ自動車				○	
	たかしょう3	日野 レンジャー	水槽付消防車				○	
	たかしょう4	日野 レンジャー	救助工作車				○	
	たかしょう5	トヨタ トヨエース	積載車					○
救急車	たかきゅう1	トヨタ ハイエース	高規格				○	
	たかきゅう2	トヨタ ハイエース	高規格				○	
	たかきゅう3	ニッサン エルブランド	高規格					○
その他	たかしょう6	ニッサン サファリ	査察車			○		
	たかしょう7	ニッサン バネット	広報車	○				
	たかしょう8	マツダ ボンゴ	消防団 活動車	○				
	たかしょう9	トヨタ ハイエース	多目的輸送車		○			
	ストッピー君	スズキ ジムニー	広報用 ミニ消防車			○		
	—	三菱 デリカ	防災活動車	○				

4-2 通信設備一覧

(令和5年3月31日現在)

種 別	本部・署（香々地出張所含む）
火災、救急専用電話（119番）	固定電話（4回線）INS 携帯電話（2回線）IP電話 2回線
災害弱者緊急通報システム	1回線
一般加入電話	本 部・署 22局 3108（4回線） 香々地出張所 54局 3995、23局 2822
ファクシミリ	本 部・署 22局 3542 香々地出張所 23局 2823
聾啞者専用ファクシミリ 一式	24局 4119
衛星携帯電話	870局 776100289
市民案内用電話	0800-200-5388

4-3 消防無線局一覧

(令和5年3月31日現在)

識別番号	所在地	無線局				
			活動波1	活動波2	主運用波	統制波
たかしょうほんぶ	本部	基地局	○	○		
たかしょうさいえい	小田原西叡山	基地局	○	○	○	○
たかしょうかかぢ	香々地出張所	基地局		○		
たじゅうたかしょうほんぶ	本部	固定局				
たじゅうさいえい	小田原西叡山	固定局				
たかきゅう1	本部	移動局	○	○	○	○
たかきゅう2	本部	移動局	○	○	○	○
たかきゅう3	香々地出張所	移動局	○	○	○	○
たかしょう1	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう2	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう3	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう4	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう5	香々地出張所	移動局	○	○	○	○
たかしょう6	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう7	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう8	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう9	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう51	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう52	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう53	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう54	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう55	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう56	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう57	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう58	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう59	本部	移動局	○	○	○	○
たかしょう60	香々地出張所	移動局	○	○	○	○
たかしょう61	香々地出張所	移動局	○	○	○	○

識別番号	所在地	無線局	400MHz帯アナログ		
			活動波1・2	九共波1・2・3	防災相互波
しよかつたかだ1	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ2	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ3	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ4	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ5	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ6	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ7	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ8	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ9	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ10	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ11	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ12	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ13	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ14	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ15	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ16	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ17	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ18	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ19	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ20	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ21	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ22	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ23	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ24	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ25	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ26	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ27	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ28	本部	移動局	○	○	○
しよかつたかだ29	香々地出張所	移動局	○	○	○
しよかつたかだ30	香々地出張所	移動局	○	○	○
しよかつたかだ31	香々地出張所	移動局	○	○	○

4-4 消防・救急資機材の現況

(令和5年3月31日現在)

放水器具	クールファイターノズル	1	救急器具	バッグバルブマスク	3
	クアドラノズル	4		患者監視装置	3
	ウルティマティックノズル	1		モバイル12誘導心電図伝送システム	3
	消防ホース 40mm	14		人工呼吸器 (メデュマツトイージー)	2
	消防ホース 50mm	73		〃 (アンサー)	1
	消防ホース 65mm	93		自動心臓マッサージ器 (LUCUS)	3
	ジェットシューター	13		レサシアン	17
	ウォーターチャージャー	2		静脈路確保訓練用資機材	2
	泡プロパック	1		気道管理トレーナー 一式	2
	泡消火薬剤	60L		血糖測定器	3
隊員保護具	空気呼吸器	12	救急器具	マジックギプスセット	3
	安全帯	9		パルスオキシメーター	3
	耐熱服	2		ショックパンツ	3
	蜂防護服	2		消毒機 (シャットノクサス)	2
救急器具	布担架	3	救急器具	高度救命処置訓練人形	3
	スクープストレッチャー	3		携帯電話 (救急用)	3
	のう盆	3		骨伝導イヤホン	3
	血圧計	6		半自動体外式除細動器 (AED-3151)	1
	聴診器	3		〃 (TEC-2603)	2
	副子	14		携帯酸素	3
	レスキューシート	3		蒸気滅菌器	2
	吸引器 (LSU 4000)	3		A E D (FR2・FR3 各1)	2
	バックボード	3		A E D トレーナー	9
	遠隔画像伝送システム	3		静脈可視化装置 (スタッドベイン)	2

4-5 消防水利の現況 (令和5年3月31日現在)

(1) 消火栓

(単位：基)

公 設	私 設	合 計
303	3	306

(2) 防火水槽

(単位：基)

100 m ³ 以上	60 m ³ 以上 100 m ³ 未満	40 m ³ 以上 60 m ³ 未満	20 m ³ 以上 40 m ³ 未満	私 設	合 計
0	3	333	19	5	360

防火水槽別		地区別	高 田 区	真 玉 区	香々地 地区	合 計
防 火 水 槽	100 m ³ 以上					
	60 m ³ 以上 100 m ³ 未満		1	2		3
	40 m ³ 以上 60 m ³ 未満		145	93	100	338
	40 m ³ 未満		7	9	3	19
	計		153	104	103	360
プ ー ル			6	2	3	11
合 計			159	106	106	371

4-6 警防関係各種届出事務処理状況 (令和4年度)

(単位：件)

区分	月別													計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
消防訓練実施計画届出書	2	8	12	1	7	13	7	23	11	4	7	25	120	
露店等の開設届出書	0	0	0	0	0	1	3	1	0	0	2	0	7	
道路工事(通行止)届出書	5	3	4	1	1	2	4	3	2	2	6	2	35	
火災と紛らわしい煙又は火炎を発生おそれのある行為の届出書	5	10	9	7	7	5	24	32	5	8	15	17	144	
煙火の打上又は仕掛届出書	0	0	0	0	1	1	1	1	0	2	1	0	7	

4-7 相互応援協定・支援協定締結状況

【相互応援協定】

令和5年3月31日現在

協定名称	締結市町村名等	締結の状況	締結年月日
大分県常備消防相互応援協定	大分県下14消防本部	火災・救急・救助・その他の災害	平成24年3月30日
大分県防災ヘリコプター応援協定	大分県・大分県下14消防本部	火災・救急・救助・その他の災害	平成9年6月1日

火災統計



5 火災統計

5-1 火災の概要、損害額の推移

(1) 火災の概要

(単位：件)

種別 \ 年別	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
建 物	4	8	8	2	6
林 野	1				
車 両	1	3			1
その他	2	3		3	3
計	8	14	8	5	10

(2) 損害額の推移

(単位：千円)

種別 \ 年別	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
建 物	18,318	80,515	8,291	13,232	28,860
林 野					
車 両	60	3,169			482
その他	251			430	39
計	18,629	83,684	8,291	13,662	29,381

5-2 火災による死者の状況、火災による負傷者の状況

(1) 火災による死者の状況

(単位：人)

種別	年別				
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
建物		1			
林野					
車両					
その他					
計		1			

(2) 火災による負傷者の状況

(単位：人)

種別	年別				
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
建物	2	1	4	1	1
林野					
車両		1			
その他		1			
計	2	3	4	1	1

5-3 出火原因別火災発生状況 (令和4年中)

(単位：件)

要因別		月別												合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
原因別	たばこ			1											1
	こんろ														
	風呂・かまど												1		1
	電気配線														
	たき火			1		1									2
	放火(放火の疑い)														
	火遊び														
	ストーブ等														
	灯明・ろうソク等														
	乾燥機等												1		1
	花火														
	車両等関係														
	落雷								1						1
	その他	2													2
	不明・調査中			1	1										2
計	2		3	1	1			1				1	1	10	
火災種別	建物	1		1		1			1			1	1	6	
	林野														
	車両			1										1	
	船舶														
	その他	1		1	1									3	
	計	2		3	1	1			1			1	1	10	

5-4 用途別・月別火災発生状況 (令和4年中)

(単位：件数)

用途別	月 別												計	損害額 (千円)
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
建	専用住宅				1			1				1	3	960
	併用住宅													
	共同住宅													
	飲食店													
	店舗													
	旅館・ホテル													
	病院													
	福祉施設													
	学校													
	工場・ 作業場	1										1	2	27,007
物	倉庫・納屋			1									1	893
	事務所													
	特定複合 用途													
	非特定複合 用途													
	その他													
	林 野													
車 両			1										1	482
船 舶														
そ の 他	1		1	1									3	39
計	2		3	1	1			1			1	1	10	29,381

5-5 種別・時間別火災発生状況 (令和4年中)

(単位：件数)

種別 時間	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	計
0 ~ 2						
2 ~ 4						
4 ~ 6						
6 ~ 8						
8 ~ 10	1					1
10 ~ 12	2					2
12 ~ 14	1					1
14 ~ 16	2				1	3
16 ~ 18					2	2
18 ~ 20						
20 ~ 22						
22 ~ 24						
不 明			1			1
計	6		1		3	10

5-6 曜日別火災発生状況 (令和4年中)

(単位：件)

種別 曜日	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	計
日	2				1	3
月	1					1
火	1					1
水					1	1
木	2					2
金			1		1	2
土						
不明						
計	6		1		3	10

救急・救助統計



6 救急・救助統計

6-1 救急出動の推移、事故種別発生状況

(1) 救急出動の推移

(単位：件)

年 別	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
出動件数	1,389	1,414	1,289	1,175	1,447

(2) 事故種別発生状況

(単位：件)

年	区 分	計	救 急 事 故 種 別										不 搬 送	
			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	その他				
										加 害	自 損 行 為	急 病		そ の 他
30	出動件数	1,389	3	1		72	8	1	241	1,063				81
	搬送人員	1,323	3	1		80	9		236	994				
元	出動件数	1,414	4	1	1	69	3	9	252	1,075				90
	搬送人員	1,331	4	1	0	67	3	9	243	1,004				
2	出動件数	1,289	2		2	70	5	4	243	963				79
	搬送人員	1,219	2		2	70	5	4	237	899				
3	出動件数	1,175	2	0	0	65	10	9	191	898				69
	搬送人員	1,106	1	0	0	62	10	9	184	841				
4	出動件数	1,447	1	0	0	67	14	2	266	1,097				102
	搬送人員	1,350	0	0	0	64	14	2	255	1,015				

6-2 曜日別、月別出動件数 (令和4年中)

(単位：件)

事故種別 区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	
											転院搬送	医師搬送	資器材等	その他		
曜日別	月	1			12			43		1	126	26			1	210
	火				4	4		34		5	133	36			2	218
	水				5	3		29			103	26			1	167
	木				13	3		42			119	30				207
	金				16	3		40	1		124	48			2	234
	土				12		1	33	1	2	123	32			1	205
	日				5	1	1	45		1	135	15			3	206
計	1			67	14	2	266	2	9	863	213			10	1,447	
月別	1				5			19			66	19			1	110
	2				8	2		22		3	63	16				114
	3	1			4			12			65	25			1	108
	4				7			21			43	23				94
	5				4		1	18			64	17			2	106
	6				3	2	1	21		3	61	16			1	108
	7				15	1		31			93	16			1	157
	8				3	3		23		1	92	12			2	136
	9				1	1		19	1		69	12			2	105
	10				7	2		26		1	67	16				119
	11				5	3		22		1	83	25				139
	12				5			32	1		97	16				151

6-3 搬送人員 (令和4年中)

(単位：件)

事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
	搬送人員	0	0	0	64	14	2	255	1	5	797	212

6-4 時間別出動件数 (令和4年中)

(単位：件)

時間別	出動件数	事故種別													
		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他
計	1,447	1			67	14	2	266	2	9	863	213			10
0-2	46				1			11			33	1			
2-4	47				2	1		8	1	1	28	6			
4-6	58				1	1		8			46	1			1
6-8	105				7	1		21			74	2			
8-10	181				8	2		42		1	103	25			
10-12	186				2	2	1	42			100	39			
12-14	192	1			14	2		25		3	89	57			1
14-16	169				12	3	1	25		2	80	42			4
16-18	150				11	1		30		1	80	25			2
18-20	128				7			22	1		87	10			1
20-22	103				1	1		18			82	1			
22-24	82				1			14		1	61	4			1

6-5 傷病程度別搬送状況

(単位：件)

年別 程度	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
死 亡	25	29	31	27	30
重 症	186	223	186	154	173
中 等 症	714	671	614	597	748
軽 症	397	408	388	328	398
そ の 他	1				1
計	1,323	1,331	1,219	1,106	1,350

※死 亡 初診時において、死亡が確認されたもの

※重 症 傷病の程度が3週間以上の入院を必要とするもの

※中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの

※軽 症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの

※その他 医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの

6-6 医療機関搬送件数 (令和4年中)

(単位：件)

医療機関	事故種別	計		急病		交通事故		一般負傷		その他	
			うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外
救急告示 医療機関	国 立	74	73	27	27	5	5	7	7	35	34
	公 立	229	227	159	157	7	7	31	31	32	32
	公 的	35	34	15	15	2	2	8	7	10	10
	私 病院	735	200	447	91	36	10	166	46	86	53
	私 診療所										
	計	1,073	534	648	290	50	24	212	91	163	129
その他の 医療機関	国 立	11	11							11	11
	公 立										
	公 的	1	1					1	1		
	私 病院	252	196	142	121	14	2	38	20	58	53
	私 診療所	9	4	6	2			3	2		
	計	273	212	148	123	14	2	42	23	69	64
その他の場所		4	2	1	1			1	1	2	
合 計		1350	748	797	414	64	26	255	115	234	193

6-7 救急隊員の行った応急処置件数 (令和4年中)

(単位：件)

事故種別 応急処置	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
	止血	6	3	20	3
固定	1	18	12	3	34
人工呼吸	14	2		4	20
胸骨圧迫	2		1		3
心肺蘇生	18	4	2	7	31
酸素吸入	115	6	9	47	177
気道確保	23	4	5	7	39
保温	207	9	47	48	311
被覆		4	28	6	38
在宅酸素継続	3			4	7
除細動	2			1	3
静脈路確保	10	3	3	3	19
薬剤投与	6	2	3	4	15
その他の応急処置	13		7	6	26
血圧測定	732	57	241	182	1,212
血中酸素飽和度の測定	744	61	248	191	1,244
心電図	425	25	87	99	636
計	2,321	198	713	615	3,847

6-8 救急隊員の資格

(単位：件)

区分	資格等	救急救命士	救急標準課程及び救急 課修了者	救急Ⅱ課程 修了者	計
	救急隊員	専任			
兼任		19	19	3	41
その他		1	4		5
計		20	23	3	46

6-9 応急手当普及啓発活動実施状況 (令和4年中)

(単位：件)

講習内容 署	応急手当 指導員		上級救命講習		普通救命講習		救命入門コース		一般救命講習	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
本署					3	16	1	2	2	15

6-10 救助出動状況

(単位：件)

年度	件数	救助出動件数	救助活動件数	救助人員
平成30年		22	20	23
令和元年		20	18	33
令和2年		25	19	24
令和3年		27	26	31
令和4年		28	28	35

6-11 事故種別救助活動状況 (令和4年中)

(単位：件)

種別 件数	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械等による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	計
出動件数		16	2		1				9	28
活動件数		16	2		1				9	28
救助人員		23	2		1				9	35

6-12 地区別出動件数及び救助人員 (令和4年中)

(単位：件)

事故種別 地区別		火	交	水	風	機	建	ガ	爆	そ	計
		災	通	難	水	械	物	ス	発	の	
		故	事	事	害	等	等	及	事	他	
		故	故	故	等	による	による	び	故	の	
		災	故	故	自然	事故	事故	酸	事	事	
		災	故	故	災害	事故	事故	欠	故	故	
高田	出動件数		13	1		1				7	22
	活動件数		13	1		1				7	22
	救助人員		19	1		1				7	28
真玉	出動件数		3								3
	活動件数		3								3
	救助人員		4								4
香々地	出動件数			1						2	3
	活動件数			1						2	3
	救助人員			1						2	3
合計	出動件数		16	2		1				9	28
	活動件数		16	2		1				9	28
	救助人員		23	2		1				9	35

6-13 月別出動件数及び救助人員（令和4年中）

（単位：件）

種別 件数		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等自然 災害	機械等 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸欠 事故	爆発 事故	その他 の事故	計
		1月	出動件数		1						
	活動件数		1								1
	救助人員		1								1
2月	出動件数		3			1					4
	活動件数		3			1					4
	救助人員		4			1					5
3月	出動件数		1							1	2
	活動件数		1							1	2
	救助人員		1							1	2
4月	出動件数		2							1	3
	活動件数		2							1	3
	救助人員		3							1	4
5月	出動件数		1							1	2
	活動件数		1							1	2
	救助人員		2							1	3
6月	出動件数										
	活動件数										
	救助人員										
7月	出動件数		3								3
	活動件数		3								3
	救助人員		6								6
8月	出動件数		2							2	4
	活動件数		2							2	4
	救助人員		2							2	4
9月	出動件数									1	1
	活動件数									1	1
	救助人員									1	1
10月	出動件数		2	1							3
	活動件数		2	1							3
	救助人員		2	1							3
11月	出動件数		1	1							2
	活動件数		1	1							2
	救助人員		1	1							2
12月	出動件数									3	3
	活動件数									3	3
	救助人員									3	3
合計	出動件数		16	2		1				9	28
	活動件数		16	2		1				9	28
	救助人員		23	2		1				9	35

6-14 救助隊が使用する主な保有資機材

分類	品名	員数	分類	品名	員数
一般救助用器具	かぎ付はしご	1	山岳用	バスケット型担架	2
	三連はしご	2		重量物排除用器具	大型油圧式ジャッキ式
	空気式救助マット	1	可般式ウインチ		1
	救命索発射銃（水難兼用）	1	ワイヤーロープ		6
	救助用縛帯（サバイブスリング）	1	マット型空気ジャッキ式		1
	平担架	1	大型油圧スプレッター		2
	ショートボード	1	破壊用器具	万能斧	1
	ロープ	6		ハンマー	1
	カラビナ	20	測定用器具	酸素、可燃性ガス測定器	1
	滑車	5		有毒ガス測定器	1
切断用器具	エンジンカッター	2	呼吸保護用器具	空気呼吸器	5
	チェーンソー	2		隊員保護用器具	革手袋
	鉄線カッター	1	フルボディハーネス		6
	グラスソー	1	耐電手袋		3
	大型油圧切断機一式	2	防塵メガネ		5
ガス溶断器一式	1	防塵マスク	5		
水難救助用器具	救命胴衣	7	耐熱服		1
	フロートロープ	3	生物・科学テロ対応資機材		陽圧式化学防護服
	水中ライト	5		除染シャワー一式	0
	救命浮環	2		除染剤散布器一式	0
	救命ボート一式	2		簡易型防護服	5
	船外機一式	1		被除染者用簡易服	0
	救命索発射銃	0			

6-15 救助隊の教育訓練（令和4年中）

区分 回数	体力錬成 訓練	ロープ 基本応用 訓練	結索救助 訓練	各種救助 器具取扱 訓練	各種救助 事象想定 訓練	その他 の訓練	計
実施延回数 (回)	270	120	30	60	30	12	522
実施延人員 (人)	1,350	600	150	300	150	60	2,610
実施延時間 (時間)	540	150	60	120	84	24	978

6-16 大分県救助大会の出場状況

(単位：チーム、人)

種目 年度	ロープ ブリッジ 渡過	ロープ 登はん	はしご 登はん	ロープ 応用 登はん	ロープ ブリッジ 救出	ほふく 救出	技術 訓練	出場 人員
平成30年			2		2			10
令和元年				1	2			10
令和2年			未開催					
令和3年			未開催					
令和4年						2		6

消防団

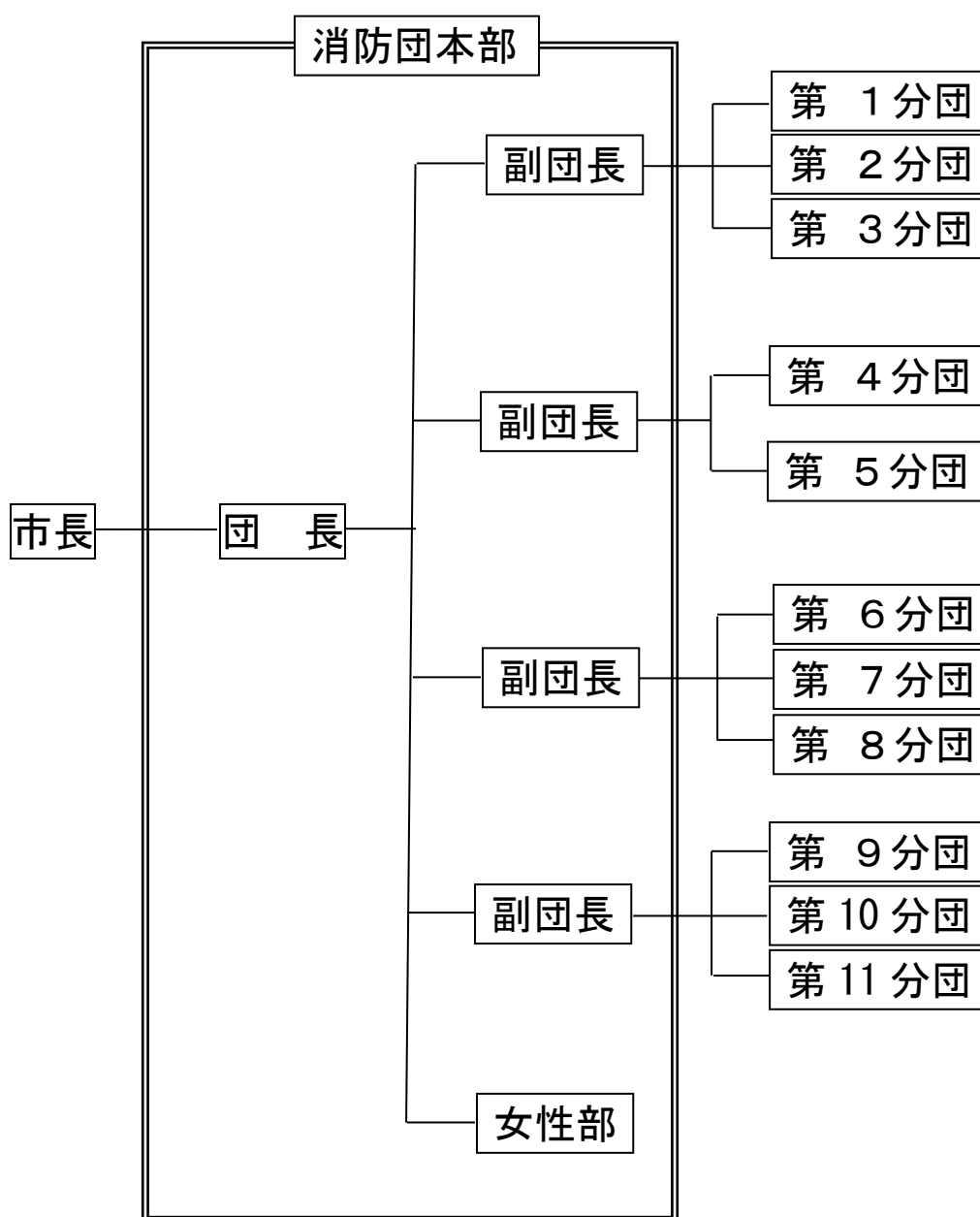


7 消防団

7-1 歴代消防団長

氏名	在職期間	備考
伊藤元一	平成17年3月31日～ 平成18年3月31日	H13.11.1～ (旧豊後高田市)
中村寿志	平成18年4月1日～ 平成30年3月31日	
嶋川岩男	平成30年4月1日～ 至現在	

7-2 機構図・組織



7-3 名称・位置・管轄区域

名 称： 豊後高田市消防団
 消防団本部： 豊後高田市御玉 147 番地

分 団 名	部 名	管 轄 区 域
第 1 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部	是永町・水取・本町・鍛冶屋町・浜町 金谷町・新町・今町・高田・界・来縄 水崎
第 2 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部	鼎・かなえ台・払田・美和・御玉 玉津・新栄
第 3 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部 第 6 部 第 7 部	森・佐野・小田原・田染横嶺・田染小 崎・田染真中・田染真木・田染平野 田 染上野・田染相原・田染池部・田染蒨
第 4 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部 第 6 部	一畑・加礼川・梅木・新城・長岩屋 松行・築地・荒尾・大力
第 5 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部 第 6 部	草地・呉崎
第 6 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部 第 6 部	中真玉・上真玉
第 7 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部	西真玉
第 8 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部	臼野
第 9 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部	香々地・見目
第 10 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部 第 4 部 第 5 部 第 6 部	羽根・堅来・小畑
第 11 分団	第 1 部 第 2 部 第 3 部	上香々地・夷
計	57 部	53 区域

7-4 消防団車両配備状況 (令和5年3月31日現在)

(単位：台)

分団名	部	ポンプ自動車	小型ポンプ付積載車	分団名	部	ポンプ自動車	小型ポンプ付積載車
第1分団	第1部	1		第6分団	第3部		1
	第2部	1			第4部		1
	第3部		1		第5部		1
	第4部		1		第6部		1
第2分団	第1部	1		第7分団	第1部		1
	第2部		1		第2部		1
	第3部		1		第3部		1
	第4部		1		第4部		1
第3分団	第1部		1		第5部		1
	第2部		1	第8分団	第1部		1
	第3部		1		第2部		1
	第4部		1		第3部		1
	第5部		1		第4部		1
	第6部		1		第5部		1
	第7部		1		第9分団	第1部	
第4分団	第1部		1	第2部			1
	第2部		1	第3部			1
	第3部		1	第4部			1
	第4部		1	第5部			1
	第5部		1	第10分団	第1部		1
	第6部		1		第2部		1
第5分団	第1部		1		第3部		1
	第2部		1		第4部		1
	第3部		1		第5部		1
	第4部		1		第6部		1
	第5部		1	第11分団	第1部		1
	第6部		1		第2部		1
第6分団	第1部		1		第3部		1
	第2部		1	合計	57部	3	54

7-5 団員の定数及び実員数 (令和5年4月1日現在)

(単位：人)

階級 分団別 ／充足率	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
	団本部 100%	1 1	4 4			1	1	6
第1分団 94.2%			1 1	1 1	4 4	12 12	30 33	48 52
第2分団 100.0%			1 1	1 1	4 4	12 12	29 28	47 46
第3分団 100.0%			1 1	1 1	7 7	21 21	41 41	71 71
第4分団 95.2%			1 1	1 1	6 6	18 18	30 36	56 62
第5分団 96.8%			1 1	1 1	6 6	18 18	35 36	61 62
第6分団 83.6%			1 1	1 1	6 6	18 18	25 35	51 61
第7分団 78.4%			1 1	1 1	5 5	15 15	14 29	36 51
第8分団 90.4%			1 1	1 1	5 5	15 15	28 30	50 52
第9分団 95.2%			1 1	1 1	5 5	15 15	37 40	59 62
第10分団 79.5%			1 1	1 1	6 6	18 18	32 47	58 73
第11分団 94.4%			1 1	1 1	3 3	9 9	17 22	31 36
計 92.9%	1 1	4 4	11 11	11 11	58 57	172 171	324 378	581 633

※上段は実員数、下段は定数を表す。

7-6 消防団別勤務年数表 (令和5年4月1日現在)

(単位：人)

勤務年数分団別	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年以上	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合計
団本部	2	6					5	13
第1分団	10	13	4	7	6	2	6	48
第2分団	6	11	4	9	9	5	3	47
第3分団	22	16	14	8	5	2	4	71
第4分団	7	9	8	5	12	11	4	56
第5分団	10	21	10	2	7	10	1	61
第6分団	6	13	13	6	11	2		51
第7分団	6	3	3	8	8	2	6	36
第8分団	12	9	4	5	7	7	6	50
第9分団	3	11	6	2	13	20	4	59
第10分団	10	7	12	6	5	9	9	58
第11分団	5	5	3	3	5	4	6	31
合計		124	81	61	88	74	54	581

7-7 消防団員年齢表 (令和5年4月1日現在)

(単位：人)

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
18歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0
18歳以上 20歳未満	0	0	0	0	0	0	1	1
20歳以上 25歳未満	0	0	0	0	0	0	5	5
25歳以上 30歳未満	0	0	0	0	0	5	17	22
30歳以上 35歳未満	0	0	0	0	2	4	27	33
35歳以上 40歳未満	0	0	0	0	6	25	45	76
40歳以上 45歳未満	0	0	0	0	5	31	42	78
45歳以上 50歳未満	0	0	1	2	11	43	62	119
50歳以上 55歳未満			2	1	13	34	54	104
55歳以上 60歳未満		1	1	2	7	16	31	58
60歳以上 65歳未満		1	2	5	9	4	30	51
65歳以上	1	2	5	1	5	10	10	34
合計	1	4	11	11	58	172	324	581
平均年齢(歳)	68	64	61.3	58.1	51.6	47.7	47.7	48.7

7-8 消防団員表彰受賞状況

(単位：人)

区 別		年 度	平成 30 年度	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
叙勲（春・秋）	瑞 宝 双 光 章			1			
	瑞 宝 单 光 章	1			3		2
消防庁長官	功 勞 章						
	永年勤続功労章	2	2				2
大分県知事	功 勞 章						
	永年勤続功労章	2	2	3	1	2	
日本消防協会長	功 績 章	1	1	2	1	1	
	精 績 章	2	1	2			
	勤 続 章	6	6	5	9	9	
大分県消防協会長	特別功労章（1・2級）						
	35年勤続功労章	9	5	5	4	7	
	30年勤続功労章	13	6	4	6	8	
	25年勤続功労章	15	14	15	17	18	
	20年勤続功労章	22	27	21	13	19	
	感謝状（退団者）15年以上功労賞	28	31	10	16		
豊後高田市長表彰・ 豊後高田市消防協会 長表彰	15年勤続功労章	20	17	12	1	17	
	10年勤続功労章	19	13	22	25	14	
	感謝状（退団者）	30	28	10	15	13	
豊後高田市消防団長表彰		5					
合 計		175	154	114	108	112	

7-9 消防団員の消防学校等入校状況

(単位：人)

区分		年度	平成	令和	令和	令和	令和
			30	元	2	3	4
		年度	年度	年度	年度	年度	年度
消防団幹部候補中央特別研修(日本消防協会)							
基礎教育			2	2			2
専科教育	警防・機関科				2		
幹部教育	初級幹部科			2			
	指揮幹部科	現場指揮課程	2				2
		分団指揮課程	1				1
特別教育	操法科		5			5	5
	訓練礼式指導員養成科		1				
	ポンプ操法指導員養成科			1			
	女性消防団員研修(隔年)						
	現地教育訓練						
	一日入校						
	防災指導員養成科						
	火災防ぎょ研修						

7-10 階級別消防団員報酬 (令和5年4月1日現在)

(単位：円)

階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
年額報酬	130,000	90,000	65,000	45,500	40,000	37,000	36,500
出勤報酬	水火災・その他の災害 日額 8,000円(4時間未満の場合は4,000円)						
	行方不明者捜索 日額 8,000円(4時間未満の場合は4,000円)						
	警戒	1回につき3,000円					
	訓練	1回につき3,000円					
	その他	1回につき3,000円					

7-11 消防団相互応援協定締結状況

【相互応援協定】

令和5年3月31日現在

協定名称	締結市町村名等	締結の内容	締結年月日
大分県消防団相互応援協定	大分県下14市 3町1村	市町村境界付近の火災や 大規模災害における応援 出動	平成25年4月1日

資料編



歴代全国統一防火標語 (昭和55年～令和3年)

暦年	内 容
昭和55年	あなたです！ 火事を出すのも 防ぐのも
昭和56年	毎日が 防火デーです ぼくの家
昭和57年	火の用心 心で用心 目で用心
昭和58年	点検は 防火のはじまり しめくくり
昭和59年	“あとで”より “いま”が大切 火の始末
昭和60年	怖いのは 「消したつもり」と 「消えたはず」
昭和61年	防火の大役 あなたが主役
昭和62年	消えたかな！ 気になるあの火 もう一度
昭和63年	その火 その時 すぐ始末
平成 元年	おとなりに あげる安心 火の始末
平成 2年	まず消そう 火への鈍感 無関心
平成 3年	毎日が 火の元警報 発令中
平成 4年	点検を 重ねて築く “火災ゼロ”
平成 5年	防火の輪 つなげて広げて なくす火事
平成 6年	安心の 暮らしの中心 火の用心
平成 7年	災害に 備えて日頃の 火の用心
平成 8年	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
平成 9年	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
平成10年	気をつけて はじめはすべて 小さな火
平成11年	あぶないよ ひとりぼっちにした その火
平成12年	火をつけた あなたの責任 最後まで
平成13年	たしかめて。 火を消してから 次のこと
平成14年	消す心 置いてください 火のそばに
平成15年	その油断 火から炎へ 災いへ
平成16年	火は消した？ いつも心に きいてみて
平成17年	あなたです 火のあるくらしの 見はり役
平成18年	消さないで あなたの心の 注意の火
平成19年	火は見てる あなたが離れる その時を
平成20年	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
平成21年	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子
平成22年	「消したかな」 あなたを守る 合言葉
平成23年	消したはず 決めつけないで もう一度
平成24年	消すまでは 出ない行かない 離れない
平成25年	消すまでは 心の警報 ONのまま
平成26年	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
平成27年	無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成28年	消しましょう その火その時 その場所で
平成29年	火の用心 ことばを形に 習慣に
平成30年	忘れてない？ サイフにスマホに火の確認
平成31年	ひとつずつ いいね！で確認 火の用心
令和2年	その火事を 防ぐあなたに 金メダル

令和3年	おうち時間 家族で点検 火の始末
令和4年	お出かけは マスク戸締り 火の用心

気象観測情報 (令和4年1月1日～令和4年12月31日)

*雨量・温度・風速のデータは気象庁HPより引用

1 雨量

(単位：mm)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
総雨量	38.5	22.5	103.5	101.0	75.0	175.0	198.5	169.0	199.0	44.0	15.0	22.5	1163.5
日最大	30.5	11.5	50.5	22.5	39.0	47.0	109.5	67.5	72.0	21.0	7.5	15.0	

2 温度

(単位：℃)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
最高	13.6	14.8	23.2	27.1	31.0	35.6	35.8	36.0	33.7	31.9	25.4	15.5	
最低	-3.2	-3.6	-1.1	2.3	7.6	14.2	22.1	20.4	15.1	7.7	5.4	-0.6	
平均	5.1	4.5	10.8	15.1	19.2	23.7	27.4	28.4	24.8	18.2	14.8	6.4	16.5

3 風速

(単位：m)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均

最大	16.4	16.9	14.1	15.5	12.3	12.6	11.0	12.3	19.9	14.8	14.3	21.9	
平均	3.1	4.3	3.0	2.6	2.7	2.7	2.7	2.2	3.1	3.0	3.1	4.7	3.1

緊急消防援助隊編成表

(令和5年4月1日現在)

小隊名	任務	役職	人数
消火小隊	主として被災地における消火活動の実施	隊長	1人
		副隊長	1人
		隊員	3人
特殊装備小隊 (水難救助小隊)	主として被災地における特別な装備を用いた消防活動の実施	隊長	1人
		副隊長	1人
		隊員	3人
救急小隊	主として被災地において救急活動の実施	隊長	1人
		副隊長	1人
		隊員	1人

A E D の設置状況①

公的施設（71箇所）

施設名	施設名
高田小学校	高田市民グラウンド
桂陽小学校	丘の公園スポーツ広場
河内小学校	健康交流センター花いろ
都甲小学校（戴星学園）	スパランド真玉
草地小学校	夷谷温泉
呉崎小学校	昭和ロマン蔵
田染小学校	玉津座銀鈴堂
真玉小学校	デイサービスセンター周防苑
臼野小学校	豊後高田市老人介護支援センター
香々地小学校	豊後高田警察署
三浦小学校	北部保健所豊後高田保健部
旧都甲小学校（武道場）	豊後高田簡易裁判所
高田中学校	市役所高田庁舎
河内中学校	市役所真玉庁舎（真玉公民館兼用）
田染中学校	市役所香々地庁舎（香々地公民館兼用）
真玉中学校	消防本部
香々地中学校	★夢いろ幼稚園
高田高等学校	★キラリいろ幼稚園
香々地青少年の家	★香々地保育所
中央公民館	★たかだ児童クラブ（高田小）
水崎公民館	★なかよし児童クラブ（桂陽小）
河内公民館	★たんぽぽ児童クラブ（旧河内幼稚園）
田染甲公民館	★田染っ子児童クラブ（旧田染幼稚園）
西都甲公民館	★都甲っ子児童クラブ（旧都甲幼稚園）
東都甲公民館	★わこう児童クラブ（旧呉崎幼稚園）
呉崎公民館	★またま児童クラブ（旧真玉幼稚園）
香々地公民館	★浦っ子児童クラブ（三浦小）
高田体育センター	★かがぢ児童クラブ（香々地小）
真玉体育センター	★花っ子ルーム
B & G 海洋センター	★おひさまひろば
真玉市民グラウンド	豊後高田シルバー人材センター
香々地市民グラウンド	桂川ふれあいセンター

地域総合支援センター（どんぐり河内）	花っころーム香々地
デイサービスセンターふれあい館	長崎鼻リゾートキャンプ場
香々地体育センター	社会福祉協議会（真玉）
豊後高田市老人介護支援センター	

A E D の設置状況②

民間事業所等（52箇所）

事業所等名	事業所等名
★封戸保育園	特別養護老人ホーム真寿苑
★城台保育園	松成歯科医院
★和光保育園	サンクリニック
★河内保育園	草地公民館
★あすなろほいくえん（田染保育園）	香々地3区自主防災会
★真玉保育園	高島地区自主防災会
高田中央病院	臼野浜小林地区自主防災会
玄々堂高田病院	新町1地区自主防災会
せぐち内科	エーワン豊後高田店
みずのえ呼吸器内科クリニック	株式会社住理工九州
安部内科	株式会社サミットスチール大分工場
ながまつ内科・小児科クリニック	株式会社ヒロテック大分工場
医療法人積善会 千嶋病院	ムラテックメカトロニクス株式会社大分工場
特別養護老人ホーム やすらぎの里	ヤクルトヘルスフーズ株式会社
介護老人保健施設 希の里	(株)エイチワン豊後高田工場
医療法人真萌会 原田医院	土屋製作所 大分工場
うえきデンタルクリニック	(株)東プラスチック・エンジニアリング
京極歯科医院	(株)東陽九州

(株)キャム	旭鋼管九州(株)
山宗株式会社	西日本土木株式会社
ライフコート高田中央	(株)中村建材
(有)豊の里自動車学校	(株)豊洋メット
(株)湯川鉄工所 九州工場	(株)ナカノ
コロン株式会社 大分工場	障害者支援施設 コスモス
(株)住理工大分AE	みずほ育成会
西日本土木株式会社 生コン部	千代田産業真玉工場

合計 123箇所

※ 「★」印は、子育て・健康推進課により、平成23年7月11日に新規設置
(設置台数：20台、機種：日本光電AED-2100)

<市指定避難所・避難場所>

小学校区	避難地区	指定避難所	海拔(m)	備考
高 田	高田地区 水崎地区 来縄地区 界地区	高田小学校	4.04	津波避難時2階以上
		隣保館	4.63	津波避難時2階以上
		西土居集会所	7.16	
		白石集会所	6.89	
		犬田老人憩いの家	10.00	
		檜林老人憩いの家	8.60	
		高田市民グラウンド	13.80	
		来縄児童公園	12.92	
		白石児童公園	9.36	
		割掛遺跡公園	17.50	
桂 陽	玉津地区 新栄地区 美和地区 払田地区	高田中学校	18.95	体育館・グラウンド
		桂陽小学校	12.42	体育館・グラウンド
		大分県立高田高等学校	16.60	体育館・グラウンド
		中央公民館	12.08	
		健康交流センター	11.69	
		旧美和分校グラウンド	35.02	
		中核工業団地「丘の公園」	90.81	
河 内	佐野地区 森地区 小田原地区	河内中学校	28.05	体育館・グラウンド
		河内小学校	28.85	体育館・グラウンド
		河内公民館	28.80	
田 染	田染地区	田染中学校	86.79	体育館・グラウンド
		田染小学校	86.85	体育館・グラウンド
都 甲	東都甲地区 西都甲地区	東都甲公民館	130.13	
		並石ダムグリーンランドこっとな村	208.70	
		都甲小学校体育館	78.03	体育館・グラウンド
		都甲中学校	72.08	体育館・グラウンド
		西都甲公民館	57.42	
草 地	草地地区	草地小学校	9.08	体育館・グラウンド
		草地公民館	9.77	
呉 崎	呉崎地区	和光保育園園庭	6.40	
真 玉	中真玉地区 西真玉地区 上真玉地区	真玉公民館	4.76	津波避難時3階以上
		真玉体育センター	15.76	
		旧真玉火葬場跡地	28.10	
		旧真玉小学校グラウンド	20.36	
		大村グラウンド	16.24	
		真玉小学校	20.37	体育館・グラウンド
	臼野地区	旧上真玉小学校グラウンド	58.95	
		臼野公民館	12.88	
		臼野小学校	19.51	体育館・グラウンド
		真玉市民グラウンド	26.35	
		栗島公園	27.20	
香々地	三重地区	旧三重小学校	61.08	体育館・グラウンド
	三浦地区	三浦小学校	13.17	体育館・グラウンド
	見目地区 香々地地区	香々地中学校	7.16	体育館・グラウンド
		香々地公民館	7.64	
		香々地市民グラウンド	42.00	
		長崎鼻リゾートキャンプ場	18.70	
		大分県立香々地青少年の家	30.94	体育館・グラウンド

＜津波避難ビル＞

協定締結ビル名称	所在地	構造	収容可能人員
NTT豊後高田ビル	豊後高田市高田宮町 744 番地	鉄筋コンクリート 4 階建	460 名
九州特殊土木株式会社	豊後高田市高田 2878 番地	鉄筋コンクリート 3 階建	270 名
加宝インテックビル	豊後高田市金谷町 1185 番地	鉄筋コンクリート 5 階建	220 名
エクレールヤスタ	豊後高田市新町 988 番地	鉄筋コンクリート 7 階建	300 名
パークサイド野上Ⅱ	豊後高田市新地 1017 番地	鉄筋コンクリート 5 階建	160 名

＜福祉避難所＞

施設名称	所在地	海拔	受入可能人員
障害者支援施設コスモス	豊後高田市美和 1684 番地	35m	60 名
健康交流センター花いろ	豊後高田市美和 1335 番地 1	11m	10 名
並石ダムグリーンランドこっとな村	豊後高田市一畑 1587 番地	208m	5 名
特別養護老人ホーム 真寿苑	豊後高田市臼野 4298 番地 3	25m	25 名
デイサービスセンター真寿苑	豊後高田市臼野 4298 番地 3	25m	5 名
デイサービスセンター周防苑	豊後高田市臼野 4335 番地 3	25m	20 名
豊後高田市老人介護支援センター	豊後高田市臼野 4335 番地 3	25m	10 名
豊後高田市生活支援ハウス	豊後高田市見目 104 番地	7m	20 名
養護老人ホーム 六郷園	豊後高田市新地 1274 番地	4m	17 名
特別養護老人ホーム やすらぎの里	豊後高田市呉崎 755 番地 1	2m	16 名
スパランド真玉	豊後高田市城前 156 番地 1	34m	22 名
香々地青少年の家	豊後高田市香々地 5151 番地	31m	16 名

消 防 年 報

(令和4年版)

編集・発行 豊後高田市消防本部
〒879-0605

大分県豊後高田市御玉 147 番地

TEL : 0978-22-3108 FAX : 0978-22-3542